

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ	
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ	
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ	

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ	
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ	
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ	

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計	
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ	
S-5C-FB (PF16)	テレビ	
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ	
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン	
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)	

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計	
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ	
S-5C-FB (PF16)	テレビ	
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ	
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン	
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)	
TKEV 0.5-10Pr (PF28)	電話	

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	
S-5C-FB x2 (PF22)x2	テレビ	
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン	

インベイ配管	機種	設置場所
TKEV 0.5-10Pr (PF28)	電話	

インベイ配管	機種	設置場所
既設のまま		
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
—●— (PF28)x2	予備	

インベイ配管	機種	設置場所
既設のまま		
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
—●— (PF28)x2	予備	

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	
S-5C-FB (PF16)x2	テレビ	

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ	
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン	

インベイ配管	機種	設置場所
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	
S-5C-FB (PF16)	テレビ	
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ	
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン	

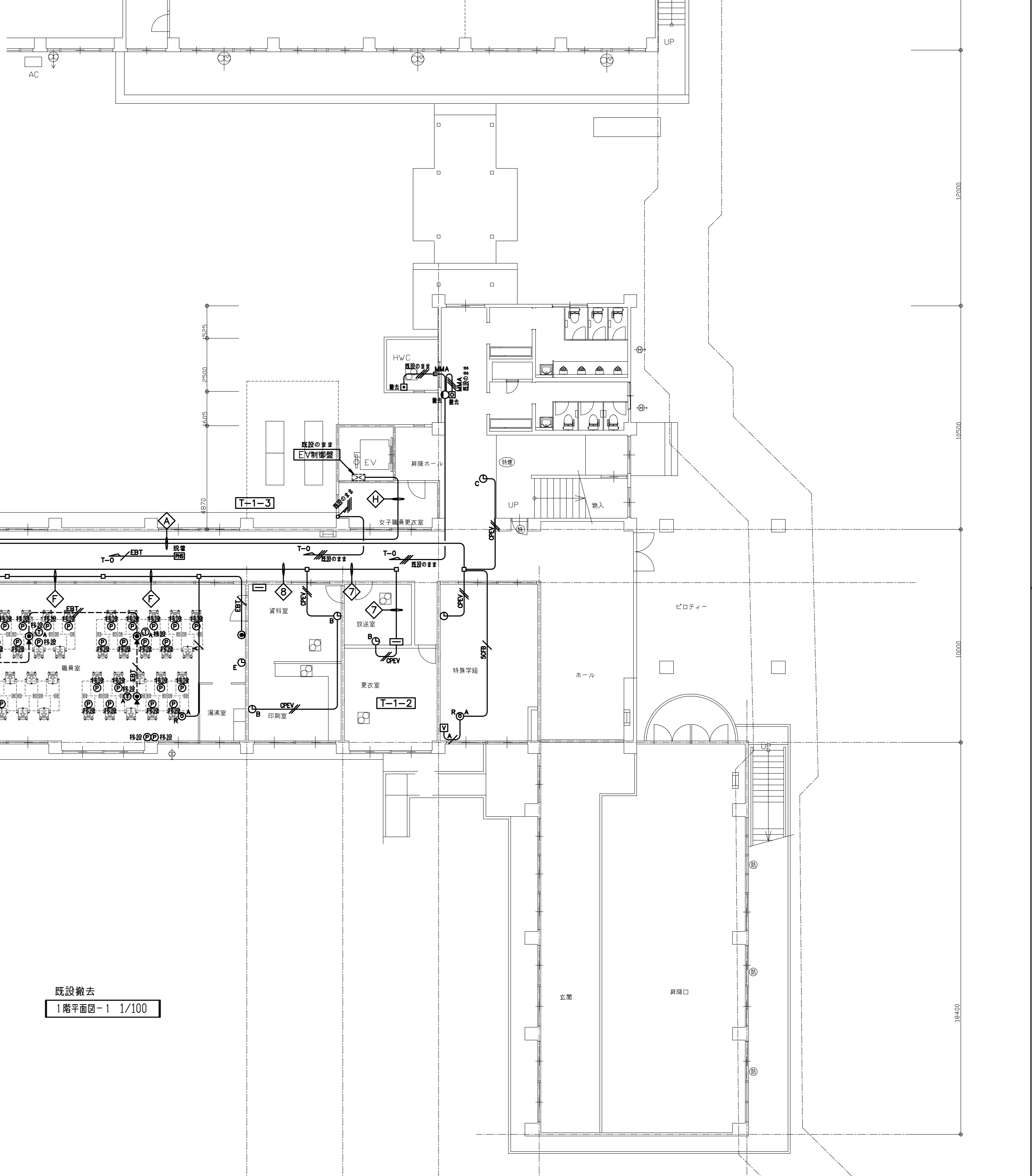
インベイ配管	機種	設置場所
既設のまま		
EBT 0.5-4C (PF16)	電話	
S-5C-FB (PF16)	テレビ	
MVVS 0.75-2C (PF16)	テレビ	

インベイ配管	機種	設置場所
既設のまま		
EBT 0.5-4C (PF16)	電話	
S-5C-FB (PF16)	テレビ	

インベイ配管	機種	設置場所
既設のまま		
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)	
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	

インベイ配管	機種	設置場所
既設のまま		
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)	
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	

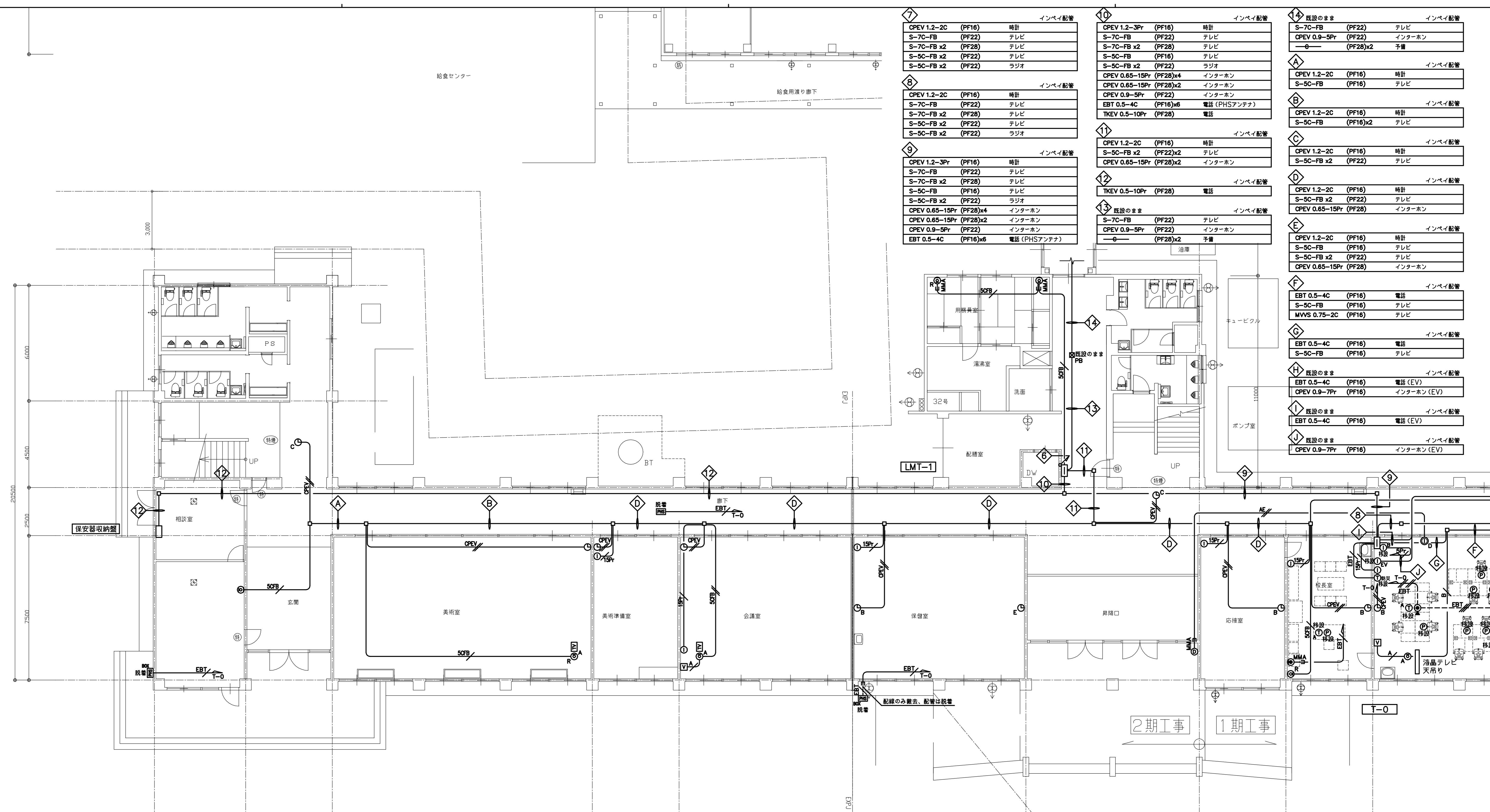
インベイ配管	機種	設置場所
既設のまま		
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	



特記事項 (既設撤去)		
特記なき配管配線は下記に依る。		
電気時計回路	CPEV	CPEV 1.2-2C (PF16)
"	CPEV	1.2-3C (PF16)
"	AE	1.2-2C (PF16)
電話回路	EBT	EBT 0.5-4C (PF16)
"	EBT	0.5-4C (PF16)
"	EBT	0.5-4C x2 (PF16)
"	EBT	0.5-4C x3 (PF16)
"	EBT	0.5-4C x4 (PF22)
"	EBT	0.5-4C (CP19)
テレビ視聴回路	S-5C-FB	S-5C-FB (PF16)
"	S-5C-FB	S-5C-FB x2 (PF22)
"	S-5C-FB	S-5C-FB (PF16)
"	MVVS	MVVS 0.75-2C (PF16)
"	S-5C-FB	S-5C-FB x2 (PF22)
"	MVVS	MVVS 0.75-2C (PF16)
インターホン回路	CPEV	CPEV 0.9-5Pr (PF22)
"	CPEV	0.65-15Pr (PF28)
"	AE	AE 1.2-2C (PF16)
トイレ呼出回路	AE	AE 1.2-3C (PF16)

- 特記事項 (既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

既設撤去
1階平面図-1 1/100



7	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ

10	インベイ配管
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン
EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
TKEV 0.5-10Pr (PF28)	電話

14	既設のまま	インベイ配管
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
— (PF28)x2	予備	

8	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ

11	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB x2 (PF22)x2	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン

15	既設のまま	インベイ配管
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
— (PF28)x2	予備	

9	インベイ配管
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン
EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)

12	インベイ配管
TKEV 0.5-10Pr (PF28)	電話

16	既設のまま	インベイ配管
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
— (PF28)x2	予備	

13	既設のまま	インベイ配管
S-7C-FB (PF22)	テレビ	
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン	
— (PF28)x2	予備	

17	既設のまま	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話	
S-5C-FB (PF16)	テレビ	
MVVS 0.75-2C (PF16)	テレビ	

18	既設のまま	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話	
S-5C-FB (PF16)	テレビ	

14	既設のまま	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)	
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	

19	既設のまま	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)	

20	既設のまま	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)	
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	

15	既設のまま	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)	

21	既設のまま	インベイ配管
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	

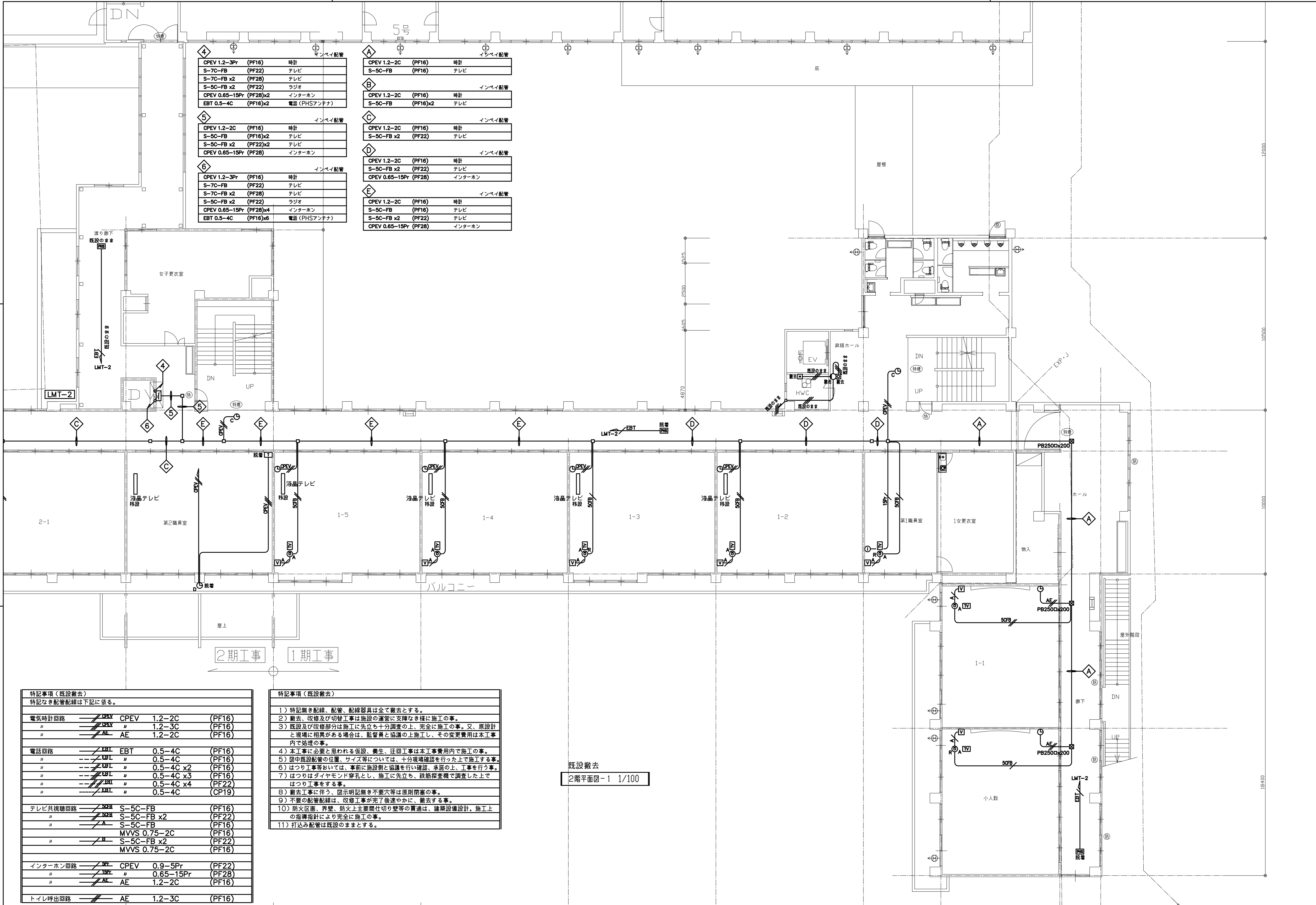
22	既設のまま	インベイ配管
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)	

既設撤去
1階平面図-2 1/100

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電気時計回路	--- CPEV	1.2-2C	(PF16)
"	--- AE	1.2-3C	(PF16)
"	--- AE	1.2-2C	(PF16)
電話回路	--- EBT	0.5-4C	(PF16)
"	--- EBT	0.5-4C	(PF16)
"	--- EBT	0.5-4C x2	(PF16)
"	--- EBT	0.5-4C x3	(PF16)
"	--- EBT	0.5-4C x4	(PF22)
"	--- EBT	0.5-4C	(CP19)
テレビ視聴回路	--- S-5C-FB	(PF16)	
"	--- S-5C-FB x2	(PF22)	
"	--- S-5C-FB	(PF16)	
"	--- MVVS 0.75-2C	(PF16)	
"	--- S-5C-FB x2	(PF22)	
"	--- MVVS 0.75-2C	(PF16)	
インターホン回路	--- CPEV	0.9-5Pr	(PF22)
"	--- AE	0.65-15Pr	(PF28)
"	--- AE	1.2-2C	(PF16)
トイレ呼出回路	--- AE	1.2-3C	(PF16)

- 特記事項 (既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注用工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 途中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上で、はつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

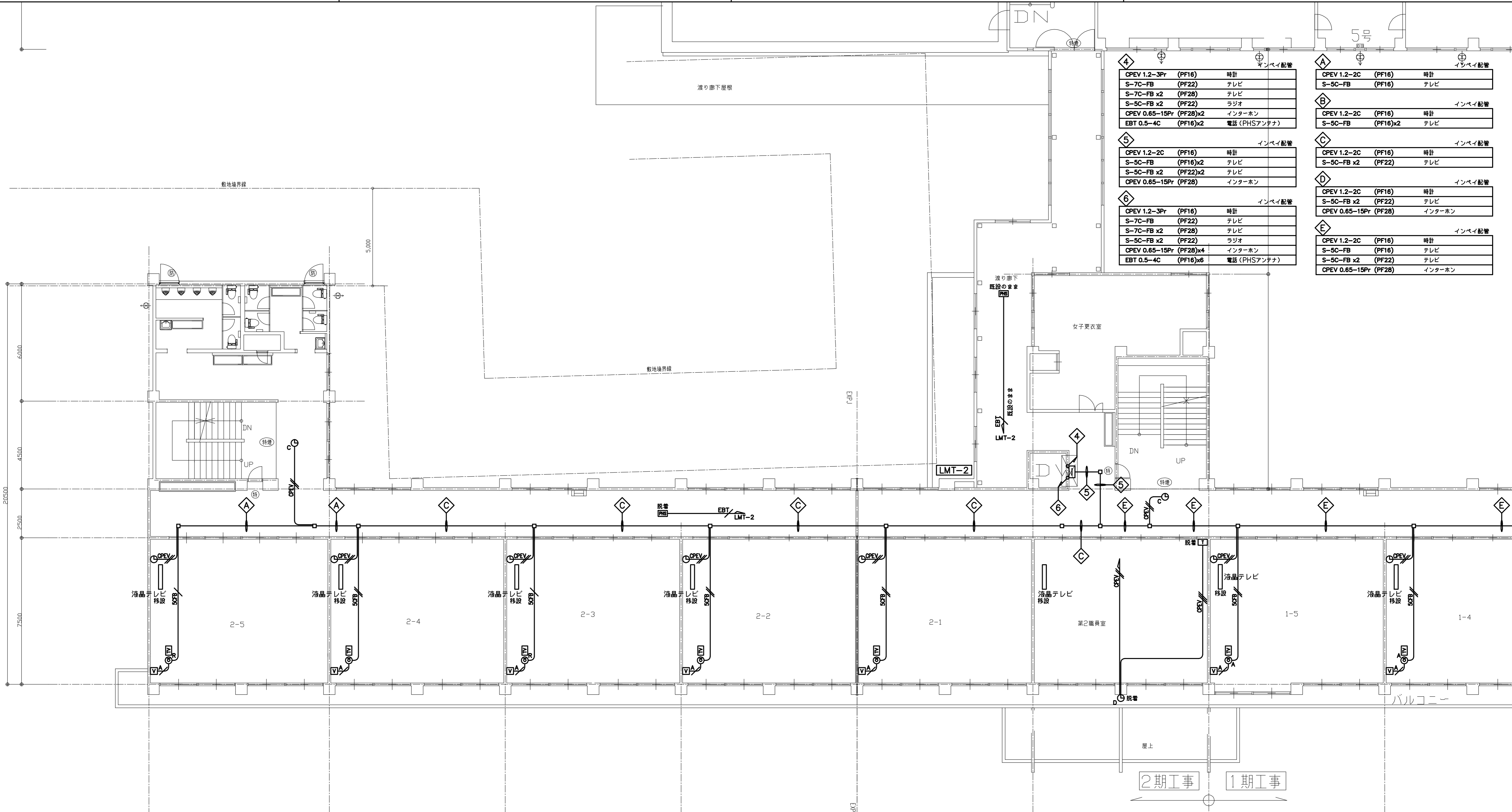
◆	CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
◆	S-7C-FB (PF22)	テレビ
◆	S-7C-FB x2 (PF22)	テレビ
◆	S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
◆	CPEV 0.65-15Pr (PF22)x2	インターホン
◆	EBT 0.5-4C (PF16)x2	電話 (PHSアンテナ)
◆	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
◆	S-5C-FB (PF16)x2	テレビ
◆	S-5C-FB x2 (PF22)x2	テレビ
◆	CPEV 0.65-15Pr (PF22)	インターホン
◆	CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
◆	S-7C-FB (PF22)	テレビ
◆	S-7C-FB x2 (PF22)	テレビ
◆	S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
◆	CPEV 0.65-15Pr (PF22)x4	インターホン
◆	EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
◆	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
◆	S-5C-FB (PF16)	テレビ
◆	S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
◆	CPEV 0.65-15Pr (PF22)	インターホン



特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電気時計回路	---CPEV	CPEV 1.2-2C	(PF16)
〃	---CPEV	1.2-3C	(PF16)
〃	---AE	1.2-2C	(PF16)
電話回路	---EBT	EBT 0.5-4C	(PF16)
〃	---EBL	〃 0.5-4C	(PF16)
〃	---EBL	〃 0.5-4C x2	(PF16)
〃	---EBL	〃 0.5-4C x3	(PF16)
〃	---EBL	〃 0.5-4C x4	(PF22)
〃	---EBL	〃 0.5-4C	(CP19)
テレビ共聴回路	---S-5C-FB	S-5C-FB	(PF16)
〃	---S-5C-FB	S-5C-FB x2	(PF22)
〃	---A	S-5C-FB	(PF16)
〃	---B	MVVS 0.75-2C	(PF16)
〃	---B	S-5C-FB x2	(PF22)
〃	---B	MVVS 0.75-2C	(PF16)
インターホン回路	---CPEV	CPEV 0.9-5Pr	(PF22)
〃	---EBT	〃 0.65-15Pr	(PF22)
〃	---AE	AE 1.2-2C	(PF16)
トイレ呼出回路	---AE	AE 1.2-3C	(PF16)

特記事項 (既設撤去)			
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。			
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。			
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。			
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。			
5) 図中既設配線の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。			
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。			
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。			
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。			
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。			
11) 打込み配管は既設のままとする。			

既設撤去
2階平面図-1 1/100



4	CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計	インベイ配管
	S-7C-FB (PF22)	テレビ	
	S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ	
	S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ	
	CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン	
	EBT 0.5-4C (PF16)x2	電話 (PHSアンテナ)	
5	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	インベイ配管
	S-5C-FB (PF16)x2	テレビ	
	S-5C-FB x2 (PF22)x2	テレビ	
	CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン	
6	CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計	インベイ配管
	S-7C-FB (PF22)	テレビ	
	S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ	
	S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ	
	CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン	
	EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)	

A	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	インベイ配管
	S-5C-FB (PF16)	テレビ	
B	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	インベイ配管
	S-5C-FB (PF16)x2	テレビ	
C	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	インベイ配管
	S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ	
D	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	インベイ配管
	S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ	
	CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン	
E	CPEV 1.2-2C (PF16)	時計	インベイ配管
	S-5C-FB (PF16)	テレビ	
	S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ	
	CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン	

既設撤去
2階平面図-2 1/100

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電気時計回路	---CPEV	CPEV 1.2-2C	(PF16)
〃	---CPEV	〃 1.2-3C	(PF16)
〃	---AE	AE 1.2-2C	(PF16)
電話回路	---EBT	EBT 0.5-4C	(PF16)
〃	---EBT	〃 0.5-4C	(PF16)
〃	---EBT	〃 0.5-4C x2	(PF16)
〃	---EBT	〃 0.5-4C x3	(PF16)
〃	---EBT	〃 0.5-4C x4	(PF22)
〃	---EBT	〃 0.5-4C	(CP19)
テレビ視聴回路	---S-5C-FB	S-5C-FB	(PF16)
〃	---S-5C-FB	S-5C-FB x2	(PF22)
〃	---S-5C-FB	S-5C-FB	(PF16)
〃	---MVVS	MVVS 0.75-2C	(PF16)
〃	---S-5C-FB	S-5C-FB x2	(PF22)
〃	---MVVS	MVVS 0.75-2C	(PF16)
インターホン回路	---CPEV	CPEV 0.9-5Pr	(PF22)
〃	---CPEV	〃 0.65-15Pr	(PF28)
〃	---AE	AE 1.2-2C	(PF16)
トイレ呼出回路	---AE	AE 1.2-3C	(PF16)

- 特記事項 (既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

②	インペイ配管
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ

③	インペイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン

④	インペイ配管
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン
EBT 0.5-4C (PF16)x2	電話 (PHSアンテナ)

A	インペイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)	テレビ

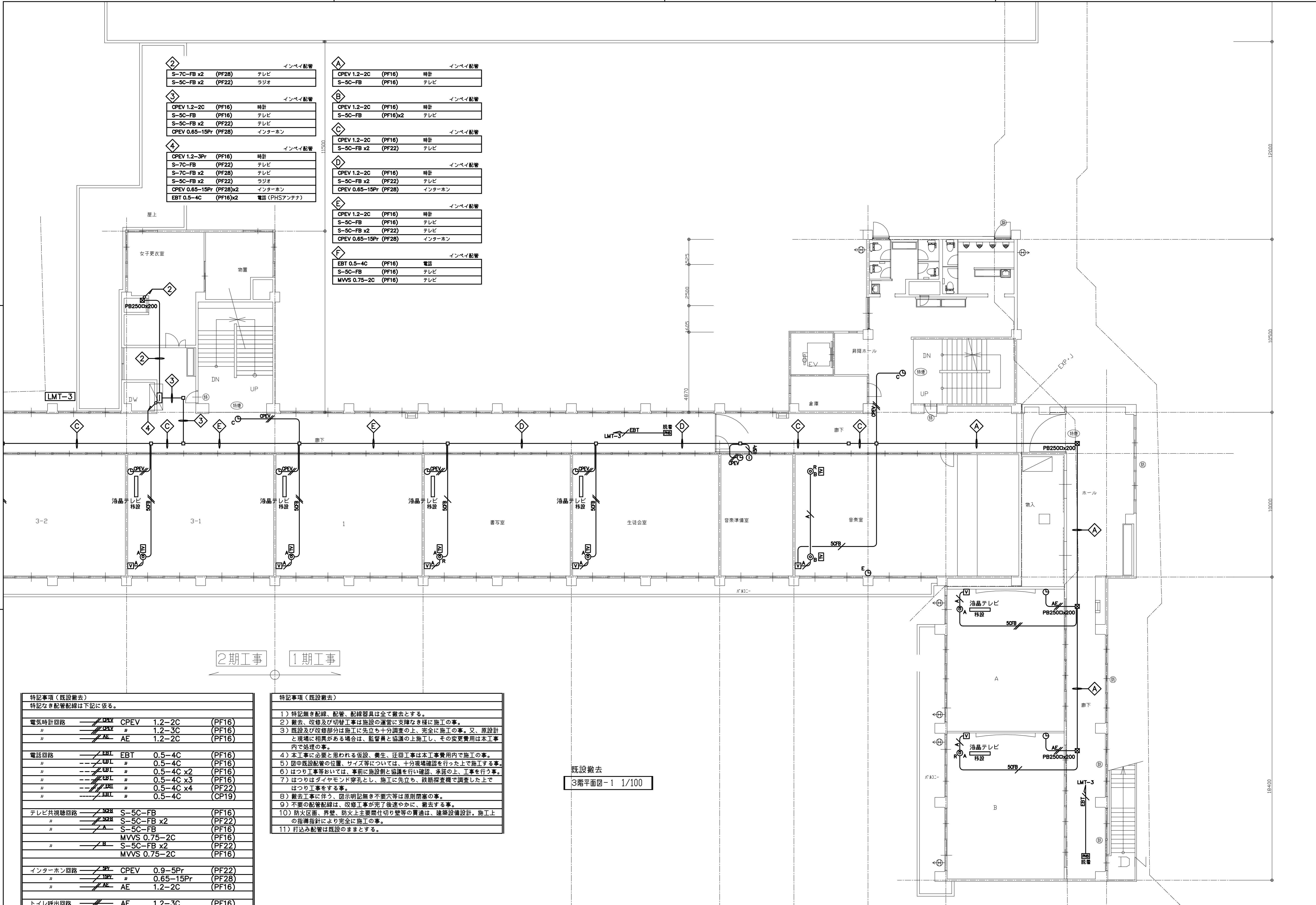
B	インペイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)x2	テレビ

C	インペイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ

D	インペイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン

E	インペイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン

F	インペイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話
S-5C-FB (PF16)	テレビ
MVVS 0.75-2C (PF16)	テレビ



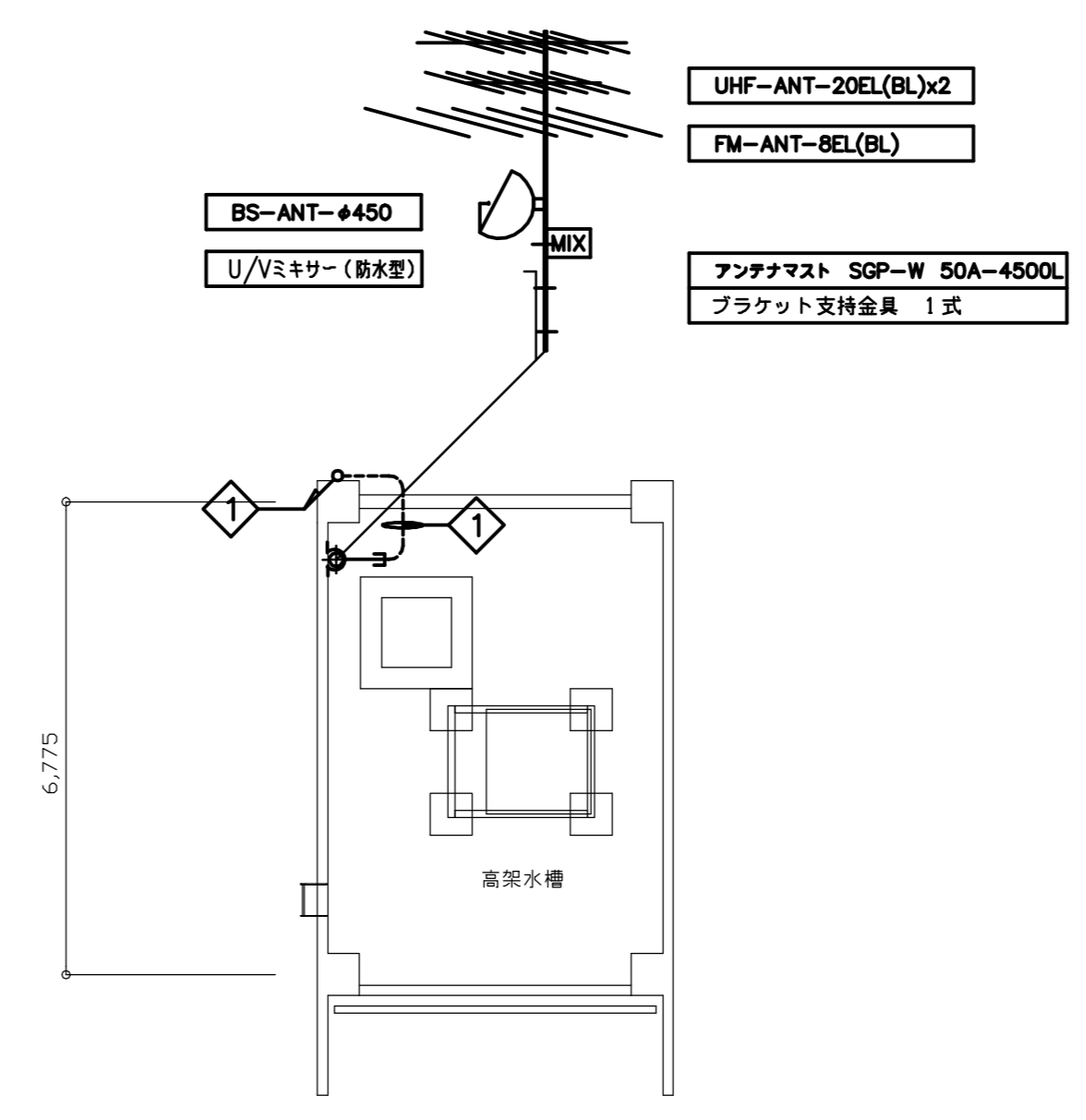
特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電気時計回路	CPEV	1.2-2C (PF16)	
"	AE	1.2-3C (PF16)	
"	AE	1.2-2C (PF16)	
電話回路	EBL	0.5-4C (PF16)	
"	EBL	0.5-4C (PF16)	
"	EBL	0.5-4C x2 (PF16)	
"	EBL	0.5-4C x3 (PF16)	
"	EBL	0.5-4C x4 (PF22)	
"	EBL	0.5-4C (CP19)	
テレビ視聴回路	S-5C-FB	(PF16)	
"	S-5C-FB x2	(PF22)	
"	S-5C-FB	(PF16)	
"	MVVS 0.75-2C	(PF16)	
"	S-5C-FB x2	(PF22)	
"	MVVS 0.75-2C	(PF16)	
インターホン回路	CPEV	0.9-5Pr (PF22)	
"	EBT	0.65-15Pr (PF28)	
"	AE	1.2-2C (PF16)	
トイレ呼出回路	AE	1.2-3C (PF16)	

- 特記事項 (既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

既設撤去
3階平面図-1 1/100

①	インベイ配管
S-7C-FB x2 (CP31)	テレビ
S-5C-FB x2	ラジオ
②	インベイ配管
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
③	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン
④	インベイ配管
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン
EBT 0.5-4C (PF16)x2	電話 (PHSアンテナ)
⑤	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)x2	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)x2	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン
⑥	インベイ配管
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン
EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
⑦	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
⑧	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
⑨	インベイ配管
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン
EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
TKEV 0.5-10Pr (PF28)	電話
⑩	インベイ配管
CPEV 1.2-3Pr (PF16)	時計
S-7C-FB (PF22)	テレビ
S-7C-FB x2 (PF28)	テレビ
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	ラジオ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x4	インターホン
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン
EBT 0.5-4C (PF16)x6	電話 (PHSアンテナ)
TKEV 0.5-10Pr (PF28)	電話
⑪	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB x2 (PF22)x2	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)x2	インターホン
⑫	インベイ配管
TKEV 0.5-10Pr (PF28)	電話
⑬	既設のまま
S-7C-FB (PF22)	テレビ
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン
—○— (PF28)x2	予備
⑭	既設のまま
S-7C-FB (PF22)	テレビ
CPEV 0.9-5Pr (PF22)	インターホン
—○— (PF28)x2	予備

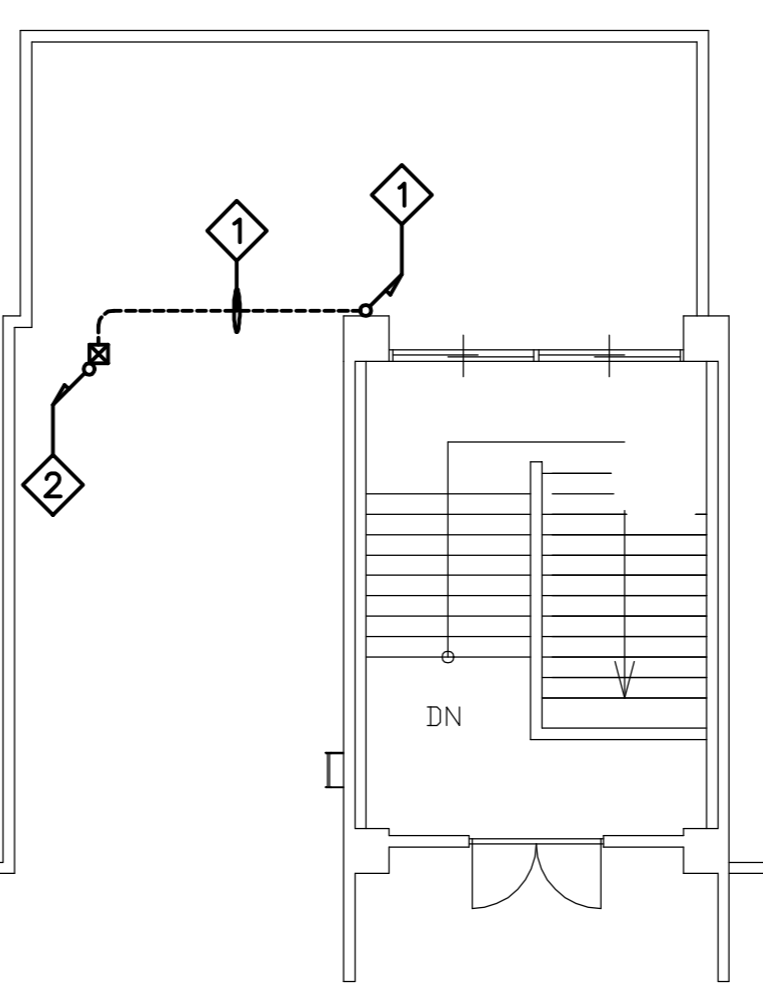
A	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)	テレビ
B	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)x2	テレビ
C	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
D	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
E	インベイ配管
CPEV 1.2-2C (PF16)	時計
S-5C-FB (PF16)	テレビ
S-5C-FB x2 (PF22)	テレビ
CPEV 0.65-15Pr (PF28)	インターホン
F	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話
S-5C-FB (PF16)	テレビ
MVVS 0.75-2C (PF16)	テレビ
G	インベイ配管
EBT 0.5-4C (PF16)	電話
S-5C-FB (PF16)	テレビ
H	既設のまま
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)
I	既設のまま
EBT 0.5-4C (PF16)	電話 (EV)
J	既設のまま
CPEV 0.9-7Pr (PF16)	インターホン (EV)



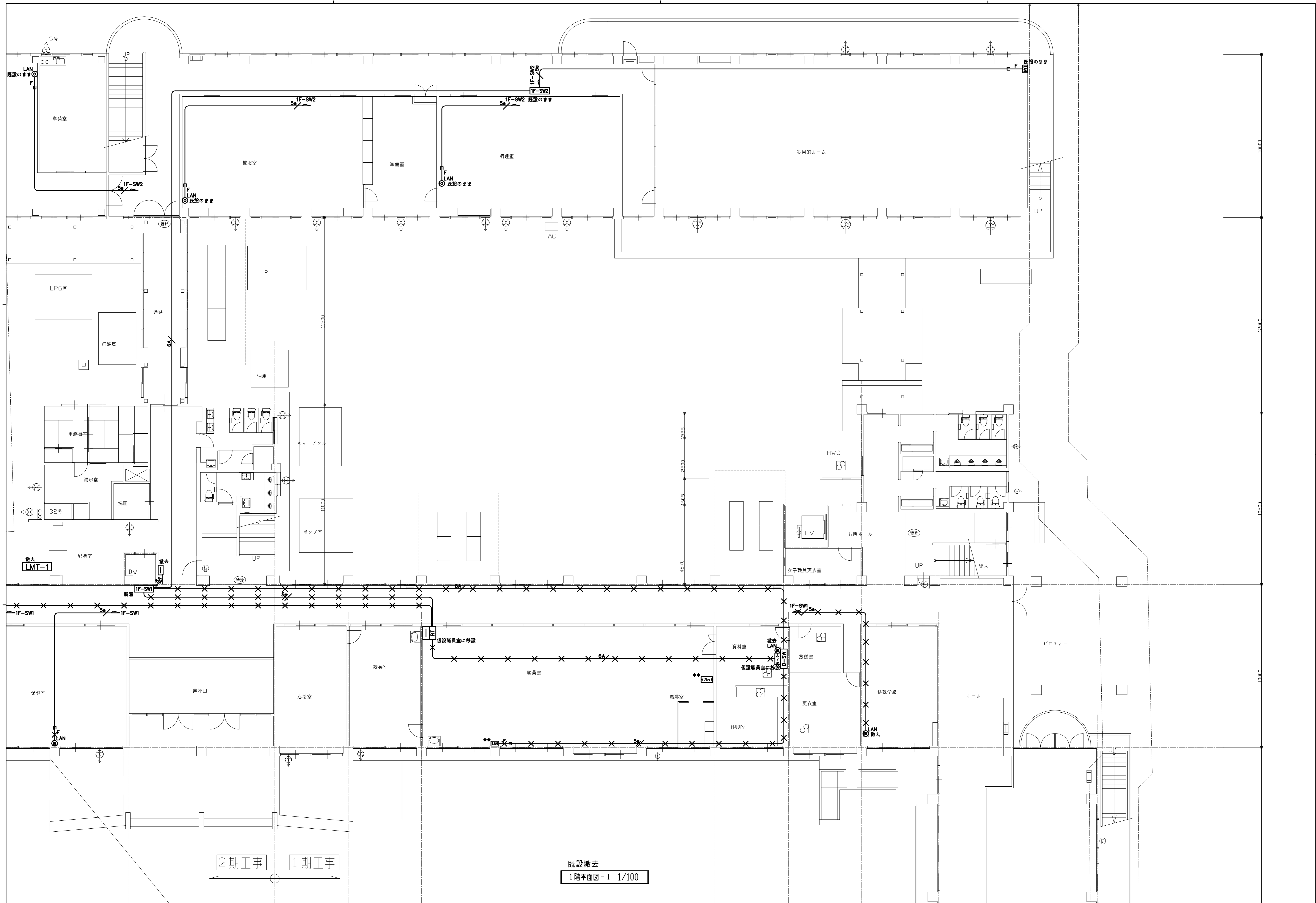
既設撤去
PHR階平面図 1/100

凡例
ⓐ 電気時計 壁掛型 丸型
ⓑ 電気時計 壁掛型 角型
ⓒ 電気時計 天井直付型 平面型
ⓓ 電気時計 壁掛型 丸型 防雨型
ⓔ 電気時計 壁掛型 電池式
ⓐ 天井テレビ受口コンセント テレビ受口(中層)+RCAピンジャックx3
ⓑ 天井テレビ受口コンセント テレビ受口(端末)+RCAピンジャックx3
ⓒ 天井テレビ受口コンセント テレビ受口(中層)+RCAピンジャックx3
ⓓ 天井テレビ受口コンセント テレビ受口(端末)+RCAピンジャックx3
ⓔ 天井テレビ受口コンセント テレビ受口(端末)+RCAピンジャックx3
ⓕ VTR接続コンセント RCAピンジャックx3
ⓖ ブラウン管テレビ テレビハンガー共
ⓗ ブラウン管テレビ
ⓘ 液晶テレビ
ⓙ 液晶テレビ 65型 ラック共
ⓚ 液晶テレビ 天吊り
ⓛ 液晶テレビ テレビハンガー共
① インターホン VL-270 : ナショナル
② インターホン TD-6H : アイホン
③ インターホン 観視 ドアホン用 WJ-4MED : アイホン
④ ドアホン WJ-DA : アイホン
①A IP多機能電話機 IP-24G-TELSDA : 日立
② PHS 8DPS II : 日立
③ 防災電話機 EK-P11238AA : パナソニック
ⓖ PHSアンテナ 日立
ⓗ PHSアンテナ(プラスチックボックスに接続) 日立
ⓔ 調計器+コンセント2P15Ax1 (プラスチックボックスに接続)
①EV エレベーター用インターホン

特記事項(既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。
電気時計回路
--- CPEV 1.2-2C (PF16)
--- CPEV # 1.2-3C (PF16)
--- AE 1.2-2C (PF16)
電話回路
--- EBT 0.5-4C (PF16)
--- CBL # 0.5-4C (PF16)
--- CBL # 0.5-4C x2 (PF16)
--- CBL # 0.5-4C x3 (PF16)
--- EBL # 0.5-4C x4 (PF22)
--- EBL # 0.5-4C (CP19)
テレビ共視聴回路
--- SFB S-5C-FB (PF16)
--- SFB S-5C-FB x2 (PF22)
--- A S-5C-FB (PF16)
--- MVVS 0.75-2C (PF16)
--- B S-5C-FB x2 (PF22)
--- MVVS 0.75-2C (PF16)
インターホン回路
--- IPI CPEV 0.9-5Pr (PF22)
--- IPI # 0.65-15Pr (PF28)
--- AE 1.2-2C (PF16)
トイレ呼出回路
--- AE 1.2-3C (PF16)
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
6) 箇中既設撤去位置は事前調査と協議を済ませる事。
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10) 防火区画、昇降、防火上主要開口切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11) 打込み配管は既設のままとする。



既設撤去
屋階平面図 1/100



2期工事 1期工事

訂	月	日	訂	月	日	訂	月	日
正

建築事務所 **BCY'S**
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
 一級建築士事務所
 一般建築士登録第 204199 号
 山本 勝 雄

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事 (電気設備)

電気設備工事
 情報通信設備図
 既設撤去 1階平面図一

SCALE 1 : 1
 1 : 100 (A1)
 1 : 200 (A3)

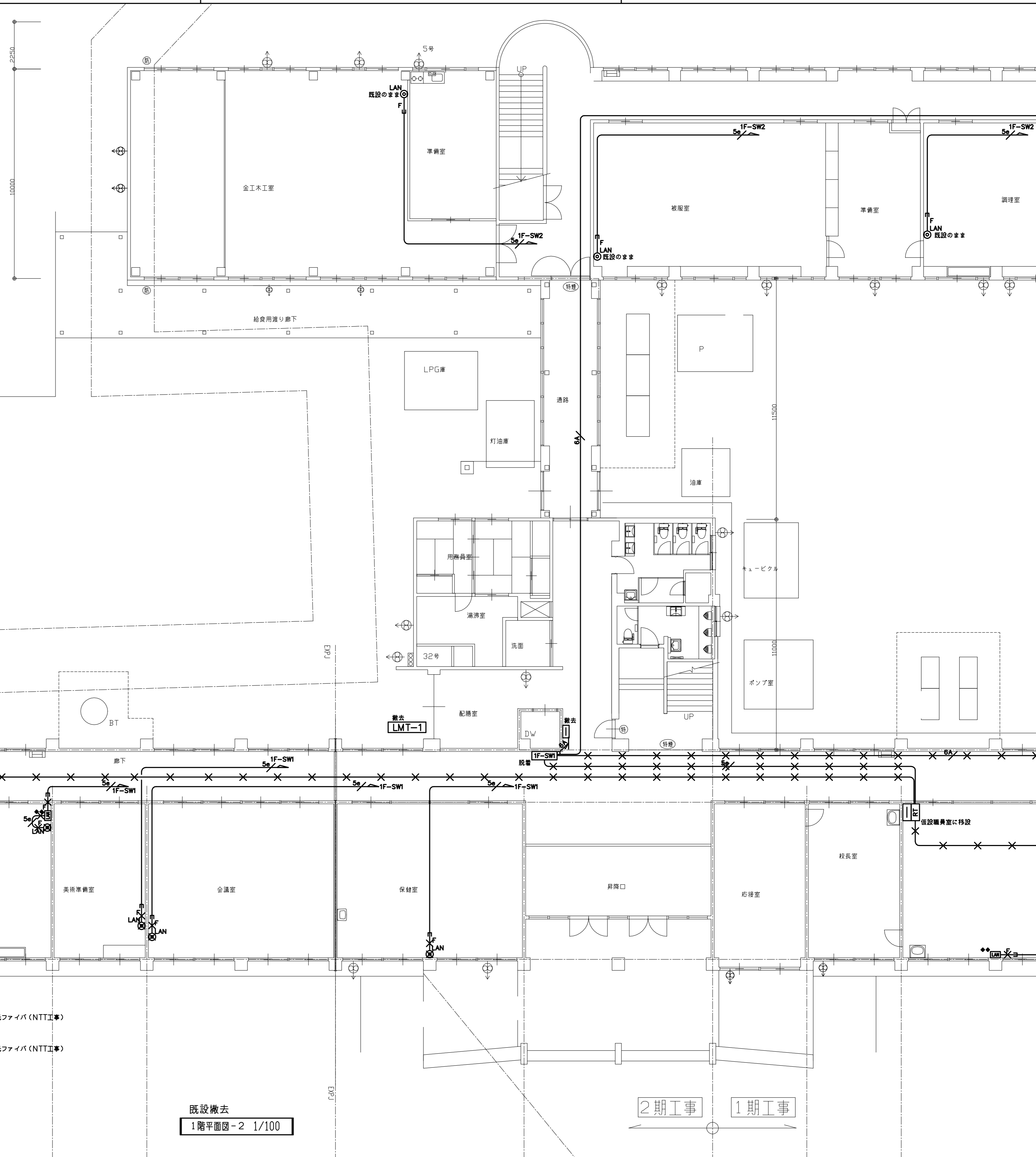
E
 No. 12/151

給食センター

凡 例

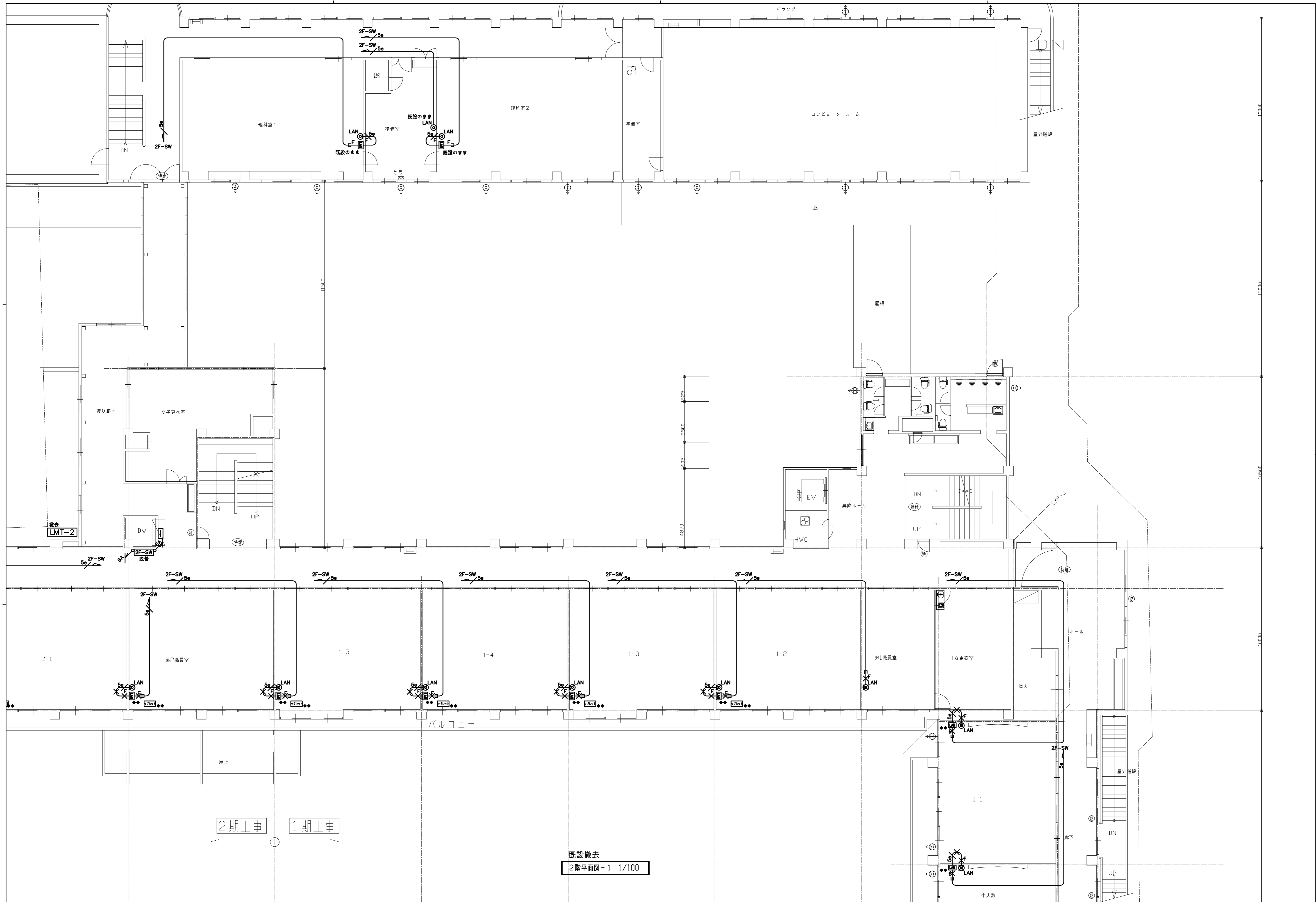
記号	名称	備考
[RT]	拠点ルーター ONU共	NTT (担当:片山氏)
[D-SW]	差幹スイッチ (サーバー)	
[1F-SW1]	フロアスイッチ HUB-10ポートPoE HUB-10ポートPoE PoE給電容量(124W)	AT-SH230-10GP:アライドテレス
[1F-SW2]	フロアスイッチ HUB-10ポートPoE HUB-10ポートPoE PoE給電容量(124W)	AT-SH230-10GP:アライドテレス
[2F-SW]	フロアスイッチ HUB-28ポートPoE HUB-28ポートPoE PoE給電容量(370W)	AT-SH230-28GP:アライドテレス
[3F-SW]	フロアスイッチ HUB-28ポートPoE HUB-28ポートPoE PoE給電容量(370W)	AT-SH230-28GP:アライドテレス
[HUB]	HUB収納箱 HUB-24ポート	
[LAN]	無線LANアクセスポイント	AT-TQ5403:アライドテレス
◎LAN	LAN受口 壁埋込型	8極8芯
○LAN	LAN受口 OAフロア用	8極8芯
☐LAN	タブレット保管庫	AC100V300W
①	はつり補修、貫通、復旧(本工事)	ヶ所を示す。
②	はつり補修、貫通、復旧、防火区画措置(本工事)	ヶ所を示す。
✕	樹脂モールの撤去を示す。	LANケーブルは既設流用。

- 特記事項(既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。
- | | | | |
|--------|----|-----|-------------------|
| 情報通信回路 | 5e | UTP | 0.5-4Prx1 (PF16) |
| " | 5e | " | 0.5-4Prx2 (PF16) |
| " | 6A | " | 0.65-4Prx1 (PF22) |
| " | 6A | " | 0.65-4Prx2 (PF28) |
- 1) 図中 X印 は、撤去を示し、実線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) コンクリート打込み部分の撤去は配線のみ撤去とする。
 - 12) 特記無き2重天井内はケーブル配線とする。
 - 13) ケーブル配線の立上り、立下りはPF管、露出部分はメタルモールで保護の事。
 - 14) 図示◆は仮設校舎へ移設し、工事が完了後本館棟図示面に再取付を行う。
 - 15) 図示明記UTP0.5-4Pr:5eはカテゴリ5eを示し、UTP0.65-4Pr:6Aはカテゴリ6Aを示す。エンハンスト仕様(最長100m)とする。
 - 16) LAN配線工事後は後デジタル通信テストを行い合格する事。
 - 17) 1期工事、2期工事の取り合いは、必ず機能回復出来る様に配線延長、仮設、接続替えを行うこと。(共通事項)



- 1) 撤去 露出配管(配管のみ本工事)
光ファイバ(SM)(CP31) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)
- 2) 撤去 露出配管(配管のみ本工事)
光ファイバ(SM)(PF28) 情報通信(NET) 光ファイバ(NTT工事)

既設撤去
1階平面図-2 1/100



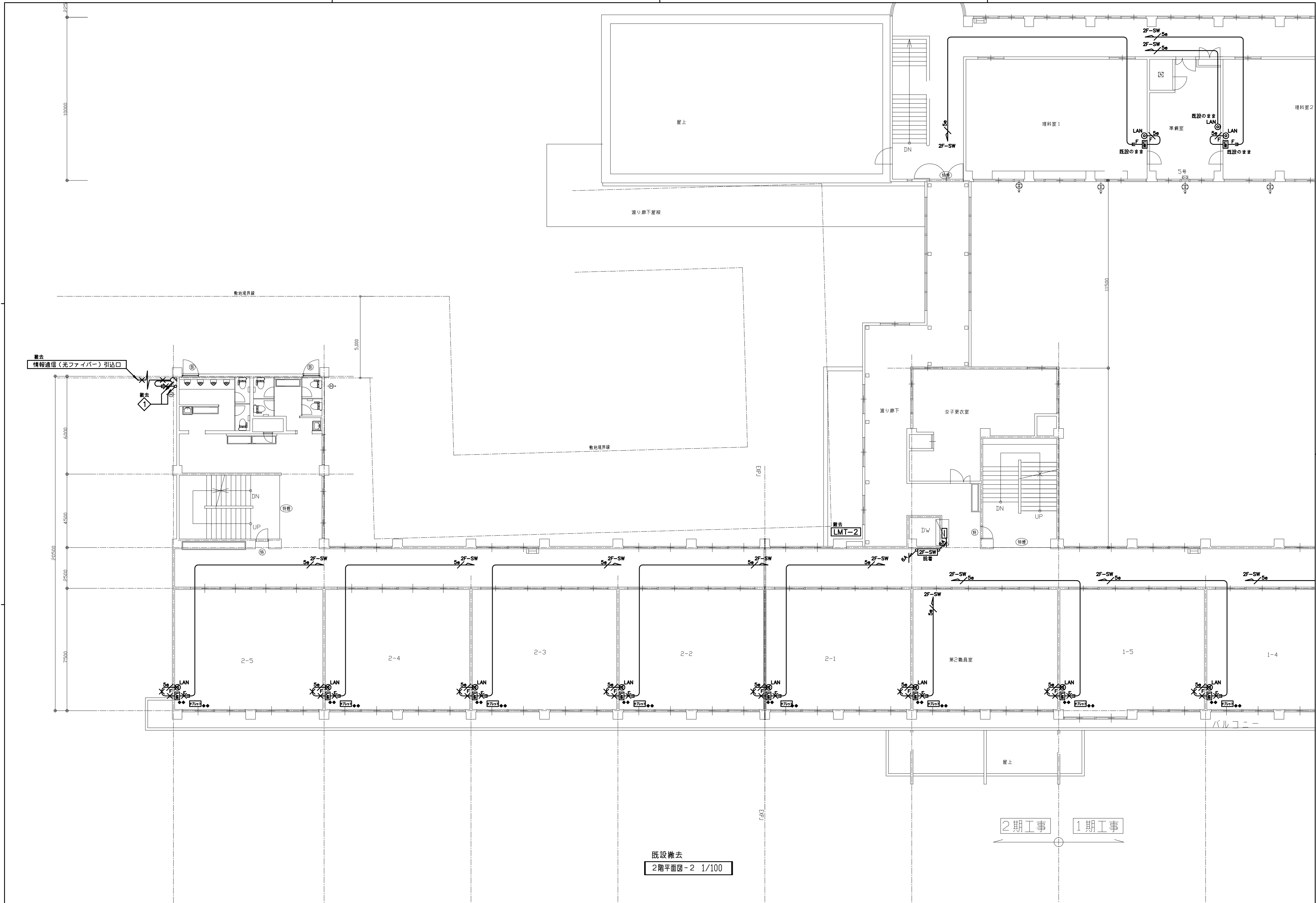
訂	月	日	月	日	月	日
正	・	・	・	・	・	・

建築事務所 **BCY'S**
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
 一級建築士事務所
 一級建築士登録第 204199 号
 山本 勝 謹

FILE No. _____
 工事名 浅井中学校南校舎長寿命化改修工事 (電気設備)

電気設備工事
 情報通信設備図
 既設撤去 2階平面図-1
 DATE _____

SCALE	1 :	E
	1 :	No. 123 / 151
	1 : 100 (A1)	
	1 : 200 (A3)	



撤去
情報通信 (光ファイバー) 引込口

撤去
LMT-2

2期工事
1期工事

既設撤去
2階平面図-2 1/100

訂				日				月				日				E			
・		・		・		・		・		・		・		・		・		No. 124	
正				日				月				日				1 : 100 (A1)			
																1 : 200 (A3)			

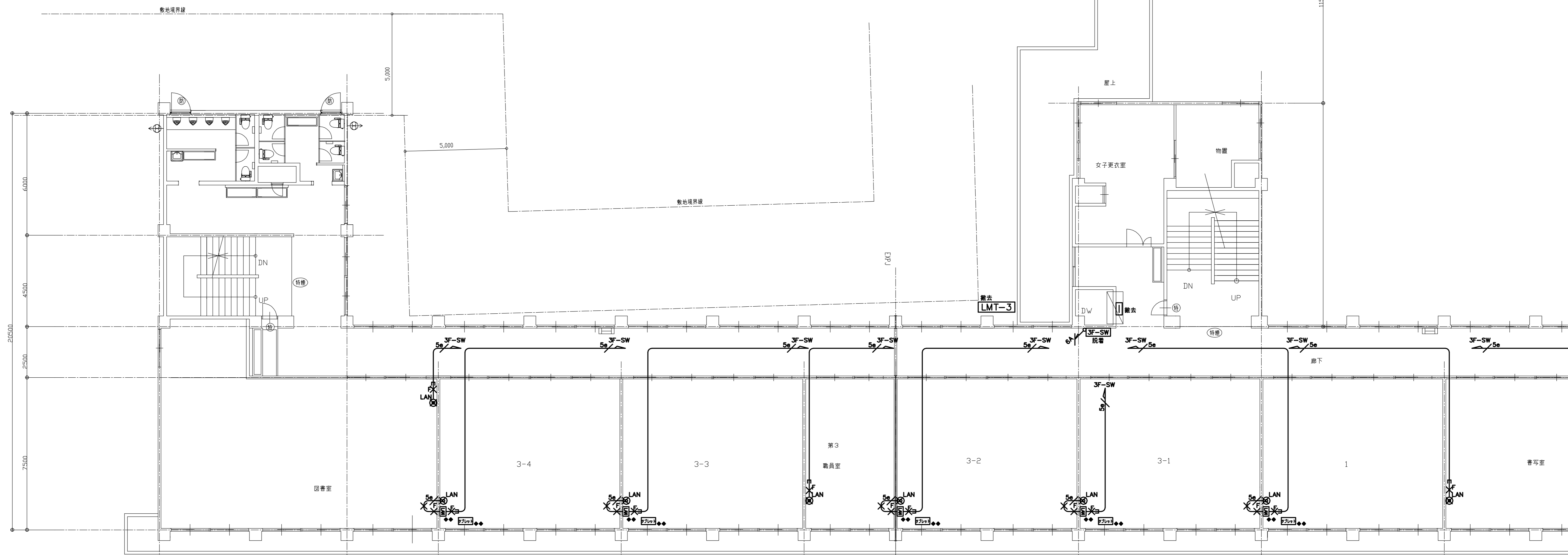
BCY'S
 建築事務所
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
 一級建築士事務所
 一般建築士登録第 204199 号
 山本 勝 執

FILE No.
 工事名

浅井中学校南校舎長寿命化改修工事 (電気設備)

電気設備工事
 情報通信設備図
 既設撤去 2階平面図-2

SCALE 1 :
 1 : 100 (A1)
 1 : 200 (A3)



既設撤去
3階平面図-2 1/100

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 1 (1期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 2 (2期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 2 (2期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 2 (2期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 2 (2期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 2 (2期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 2 (2期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

Table with 3 columns: Item number, Device/Line, and Notes. Lists items for phase 2 (2期工事) including fire alarm and fire door control circuits.

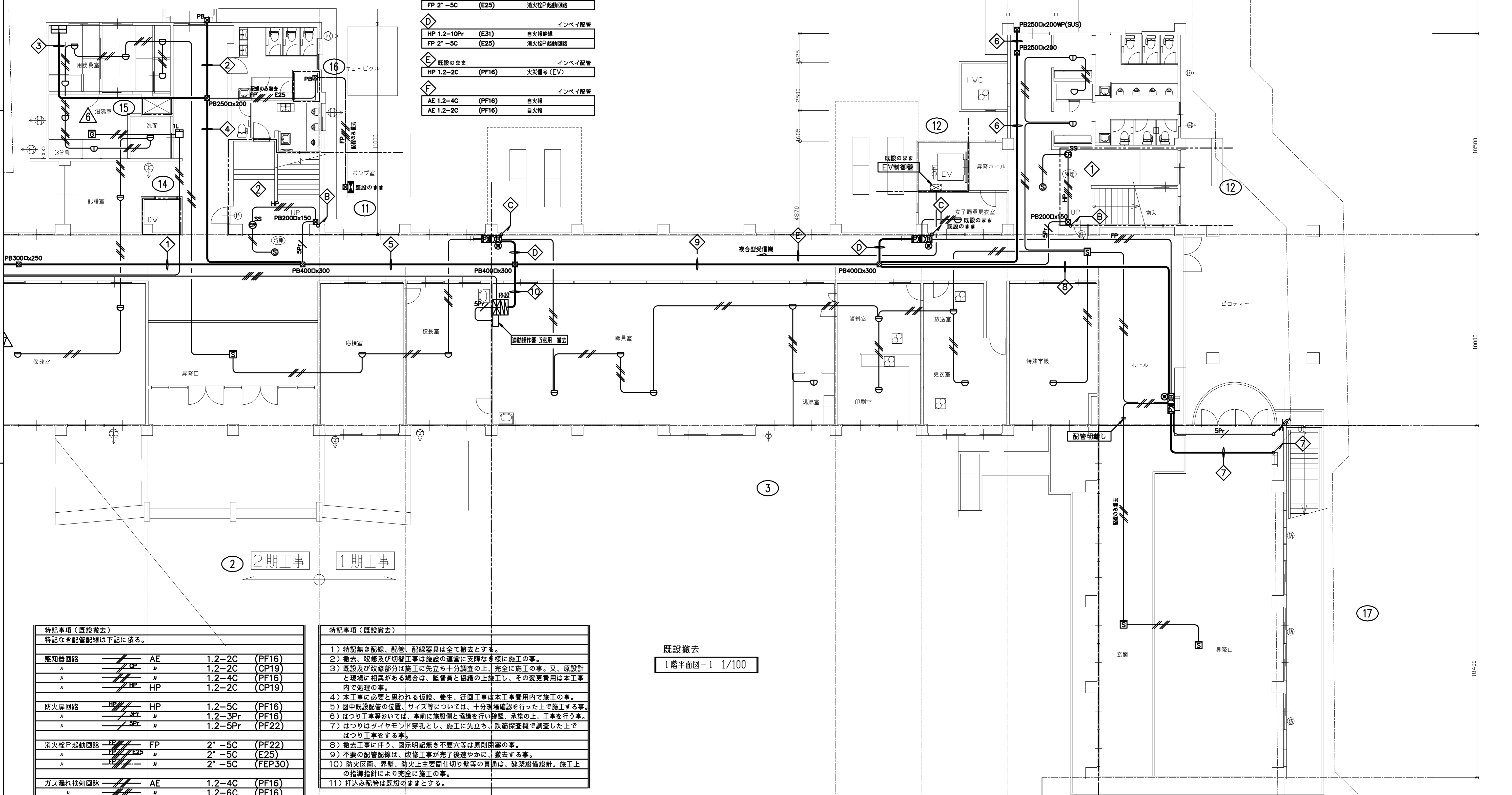
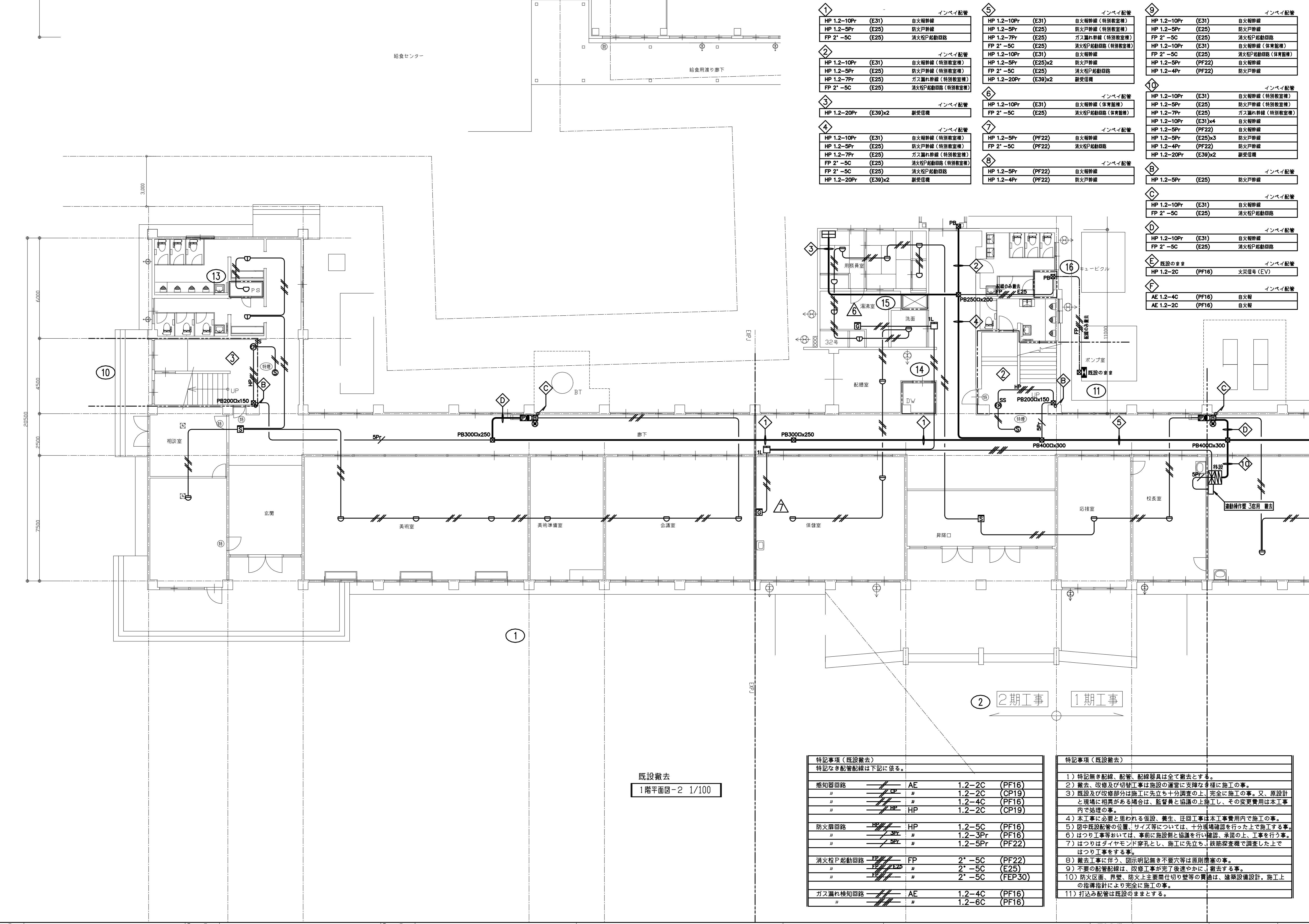


Table titled '特記事項 (既設撤去)' (Remarks on Existing Removal). It lists items to be removed, such as fire alarm and fire door control circuits, and specifies the removal method (e.g., '撤去', '切断').

Table titled '特記事項 (既設撤去)' (Remarks on Existing Removal). It contains detailed notes and conditions for the removal and replacement of equipment and conduits.

既設撤去 1階平面図-1 1/100

- | | | |
|---|--------|---------------------------------|
| ① | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| ② | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-7Pr (E25) ガス漏れ警線 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| ③ | インペイ配管 | HP 1.2-20Pr (E39)x2 副受信機 |
| ④ | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-7Pr (E25) ガス漏れ警線 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-20Pr (E39)x2 副受信機 |
| ⑤ | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-7Pr (E25) ガス漏れ警線 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| ⑥ | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-7Pr (E25) ガス漏れ警線 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| ⑦ | インペイ配管 | HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報警線 |
| | | FP 2'-5C (PF22) 消火栓P起動回路 |
| ⑧ | インペイ配管 | HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報警線 |
| | | HP 1.2-4Pr (PF22) 防火戸警線 |
| ⑨ | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-4Pr (PF22) 防火戸警線 |
| | | HP 1.2-20Pr (E39)x2 副受信機 |
| ⑩ | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 (特別教室棟) |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 (特別教室棟) |
| | | HP 1.2-10Pr (E31)x4 自火報警線 |
| | | HP 1.2-5Pr (PF22) 自火報警線 |
| | | HP 1.2-5Pr (E25)x3 防火戸警線 |
| | | HP 1.2-4Pr (PF22) 防火戸警線 |
| | | HP 1.2-20Pr (E39)x2 副受信機 |
| ⑪ | インペイ配管 | HP 1.2-5Pr (E25) 防火戸警線 |
| ⑫ | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 |
| ⑬ | インペイ配管 | HP 1.2-10Pr (E31) 自火報警線 |
| | | FP 2'-5C (E25) 消火栓P起動回路 |
| ⑭ | 既設のまま | HP 1.2-2C (PF16) 火災警報 (EV) |
| ⑮ | インペイ配管 | AE 1.2-4C (PF16) 自火報 |
| | | AE 1.2-2C (PF16) 自火報 |

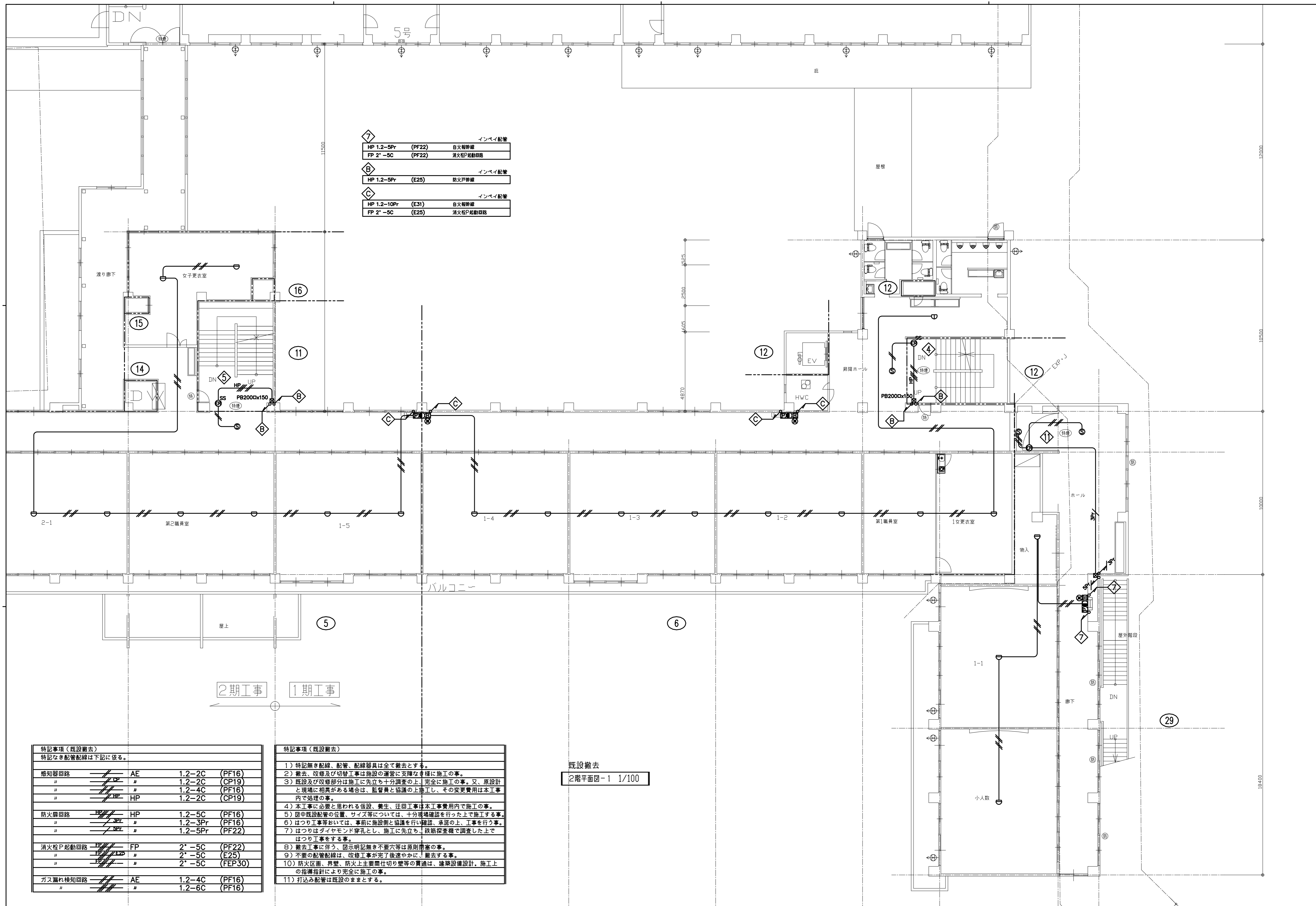


既設撤去
1階平面図-2 1/100

特記事項 (既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。

感知器回路	AE	1.2-2C (PF16)
〃	〃	1.2-2C (CP19)
〃	〃	1.2-4C (PF16)
〃	HP	1.2-2C (CP19)
防火戸回路	HP	1.2-5C (PF16)
〃	〃	1.2-3Pr (PF16)
〃	〃	1.2-5Pr (PF22)
消火栓P起動回路	FP	2'-5C (PF22)
〃	〃	2'-5C (E25)
〃	〃	2'-5C (FEP30)
ガス漏れ検知回路	AE	1.2-4C (PF16)
〃	〃	1.2-6C (PF16)

- 特記事項 (既設撤去)
- 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なす様に施工の事。
 - 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
 - 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに撤去する事。
 - 防火区分、昇降、防火上主要箇所切替等の負担は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 打込み配管は既設のままとする。



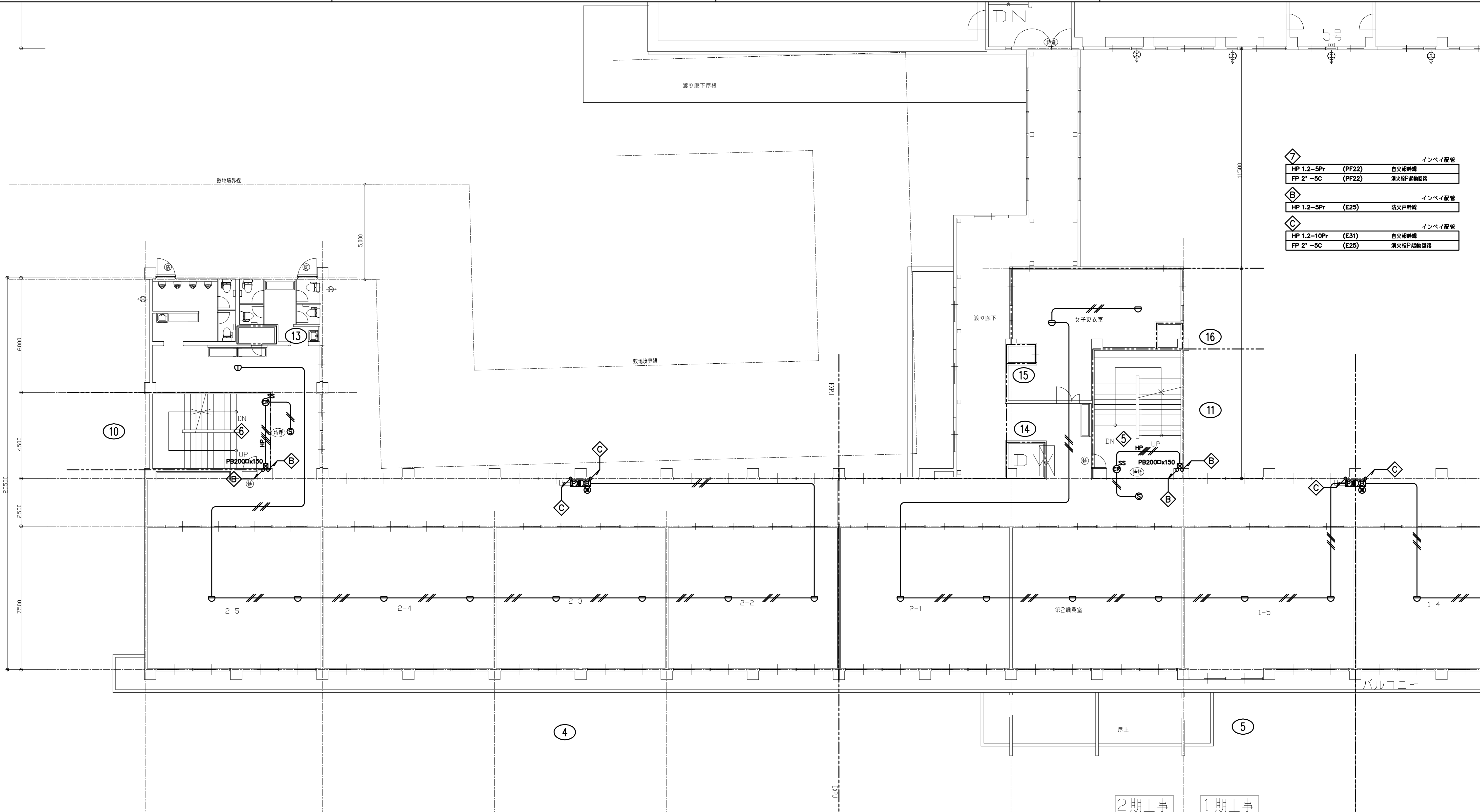
◆	HP 1.2-5Pr (PF22)	自火検幹線
◆	FP 2'-5C (PF22)	消火栓P起動回路
◇	HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線
◇	HP 1.2-10Pr (E31)	自火検幹線
◇	FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路

特記事項(既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。

感知器回路	AE	1.2-2C (PF16)
"	"	1.2-2C (CP19)
"	"	1.2-4C (PF16)
"	HP	1.2-2C (CP19)
防火扉回路	HP	1.2-5C (PF16)
"	3Pr	1.2-3Pr (PF16)
"	5Pr	1.2-5Pr (PF22)
消火栓P起動回路	FP	2'-5C (PF22)
"	"	2'-5C (E25)
"	"	2'-5C (FEP30)
ガス漏れ検知回路	AE	1.2-4C (PF16)
"	"	1.2-6C (PF16)

- 特記事項(既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。

既設撤去
2階平面図-1 1/100



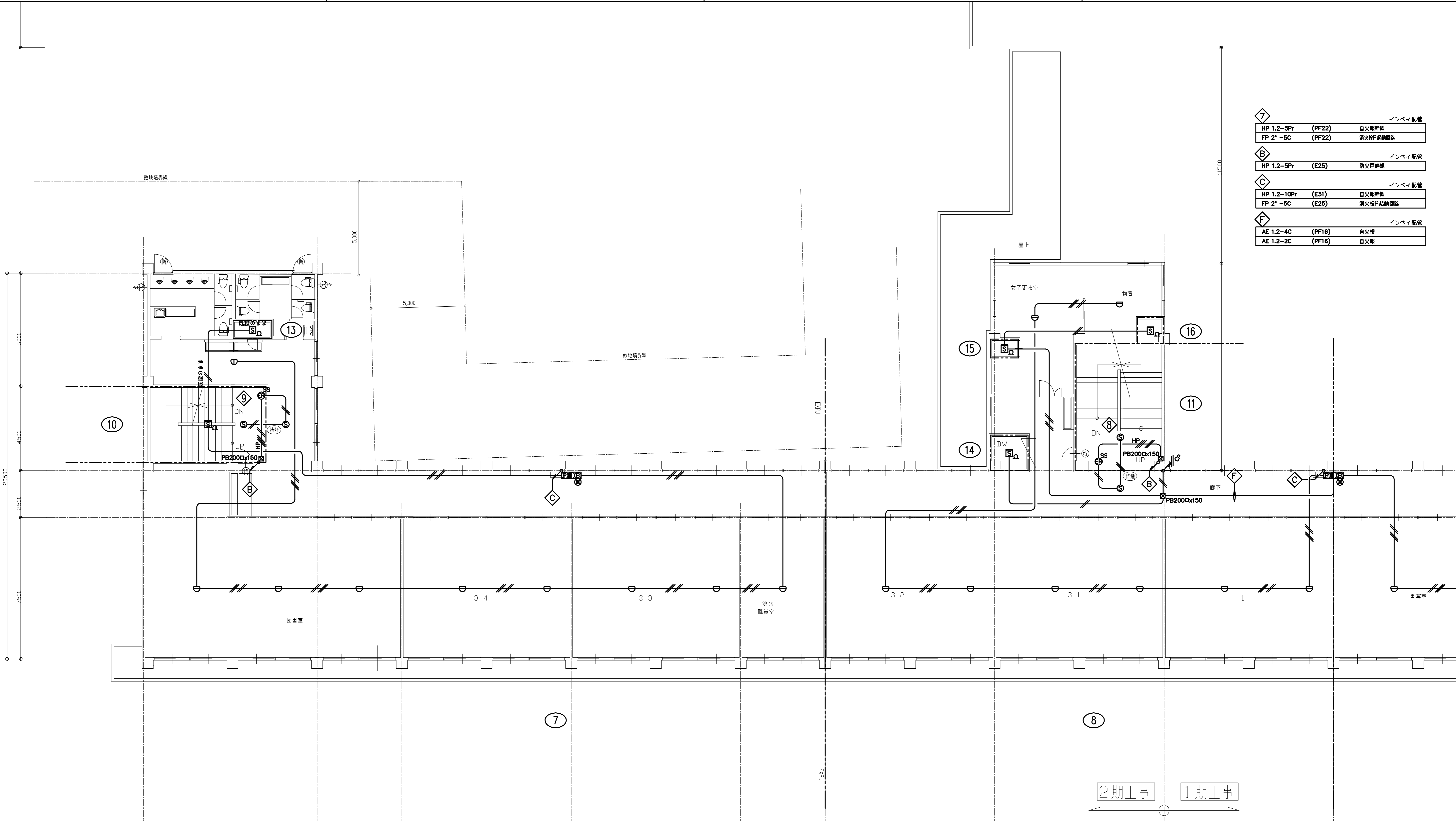
◆			インペイ配管
HP 1.2-5Pr	(PF22)	自火検知線	
FP 2'-5C	(PF22)	消火栓P起動回路	
B			インペイ配管
HP 1.2-5Pr	(E25)	防火戸検線	
◇			インペイ配管
HP 1.2-10Pr	(E31)	自火検知線	
FP 2'-5C	(E25)	消火栓P起動回路	

既設撤去
2階平面図-2 1/100

特記事項（既設撤去）				
特記なき配管配線は下記に依る。				
感知器回路	AE	1.2-2C	(PF16)	
"	"	1.2-2C	(CP19)	
"	"	1.2-4C	(PF16)	
"	HP	1.2-2C	(CP19)	
防火扉回路	HP	1.2-5C	(PF16)	
"	"	1.2-3Pr	(PF16)	
"	"	1.2-5Pr	(PF22)	
消火栓P起動回路	FP	2'-5C	(PF22)	
"	"	2'-5C	(E25)	
"	"	2'-5C	(FEP30)	
ガス漏れ検知回路	AE	1.2-4C	(PF16)	
"	"	1.2-6C	(PF16)	

特記事項（既設撤去）	
1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。	
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。	
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。	
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。	
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。	
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。	
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。	
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則廃棄の事。	
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに撤去する事。	
10) 防火区画、昇盤、防火上主要面仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。	
11) 打込み配管は既設のままとする。	

2期工事 1期工事



⑦	HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報警線	インベイ配管
	FP 2'-5C (PF22)	消火栓P起動回路	
⑧	HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸警線	インベイ配管
⑨	HP 1.2-10Pr (E31)	自火報警線	インベイ配管
	FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路	
⑩	AE 1.2-4C (PF16)	自火報	インベイ配管
	AE 1.2-2C (PF16)	自火報	

2期工事 1期工事

既設撤去
3階平面図-2 1/100

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
感知器回路	AE	1.2-2C (PF16)	
〃	〃	1.2-2C (CP19)	
〃	〃	1.2-4C (PF16)	
〃	HP	1.2-2C (CP19)	
防火扉回路	HP	1.2-5C (PF16)	
〃	〃	1.2-3Pr (PF16)	
〃	〃	1.2-5Pr (PF22)	
消火栓P起動回路	FP	2'-5C (PF22)	
〃	〃	2'-5C (E25)	
〃	〃	2'-5C (FEP30)	
ガス漏れ検知回路	AE	1.2-4C (PF16)	
〃	〃	1.2-6C (PF16)	

特記事項 (既設撤去)	
1)	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに撤去する事。
10)	防火区画、昇降、防火上主要面仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11)	打込み配管は既設のままとする。

凡例

記号	名称	備考
	複合型受信機	自火報 P型 1級 30回線 防火扉 10回線 ガス漏れ警報 10回線 一般警報 15回線
	副受信機	60回線
	端子台取付	埋込型、縦型
	発信機	P型 1級
	表示灯	AC 24V
	電鈴	DC 24V φ150mm
	消火栓起動ボタン(簡易操作性機械工事)	AC 24V
	感知器	差動式スポット型 2種
	感知器	差動式スポット型 2種
	感知器	定温式スポット型 特種
	感知器	定温式スポット型 特種
	煙感知器	光電式煙感知器 2種
	煙感知器	光電式煙感知器 2種
	終端抵抗器	
	警戒区域線	
	警戒区域番号	NO 1-30
	煙感知器	光電式煙感知器 3種
	煙感知器	光電式煙感知器 3種
	防火扉閉鎖器	本工事
	防火シャッター閉鎖器	建築工事
	警戒区域番号	NO 1-10
	集中式ガス漏れ検知器 LPG用	
	中継器	1~3個用
	中継器	4~5個用
	警戒区域番号	NO 1-7
	プルボックス	アウトレットボックス
	露出丸ボックス	
	立上り、立下り	
	天井インベイ配線工事	
	床インベイ配線工事	
	露出配管工事	
	地中埋設配線工事	

① インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線
HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路

② インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線(特別教室棟)
HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線(特別教室棟)
HP 1.2-7Pr (E25)	ガス漏れ幹線(特別教室棟)
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路(特別教室棟)

③ インベイ配管

HP 1.2-20Pr (E39)x2	副受信機
---------------------	------

④ インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線(特別教室棟)
HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線(特別教室棟)
HP 1.2-7Pr (E25)	ガス漏れ幹線(特別教室棟)
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路(特別教室棟)
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路
HP 1.2-20Pr (E39)x2	副受信機

⑤ インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線(特別教室棟)
HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線(特別教室棟)
HP 1.2-7Pr (E25)	ガス漏れ幹線(特別教室棟)
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路(特別教室棟)
HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線
HP 1.2-5Pr (E25)x2	防火戸幹線
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路
HP 1.2-20Pr (E39)x2	副受信機

⑥ インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線(体育館棟)
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路(体育館棟)

⑦ インベイ配管

HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報幹線
FP 2'-5C (PF22)	消火栓P起動回路

⑧ インベイ配管

HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報幹線
HP 1.2-4Pr (PF22)	防火戸幹線

⑨ インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線
HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路
HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線(体育館棟)
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路(体育館棟)
HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報幹線
HP 1.2-4Pr (PF22)	防火戸幹線

⑩ インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線(特別教室棟)
HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線(特別教室棟)
HP 1.2-7Pr (E25)	ガス漏れ幹線(特別教室棟)
HP 1.2-10Pr (E31)x4	自火報幹線
HP 1.2-5Pr (PF22)	自火報幹線
HP 1.2-5Pr (E25)x3	防火戸幹線
HP 1.2-4Pr (PF22)	防火戸幹線
HP 1.2-20Pr (E39)x2	副受信機

⑪ インベイ配管

HP 1.2-5Pr (E25)	防火戸幹線
------------------	-------

⑫ インベイ配管

HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路

⑬ インベイ配管

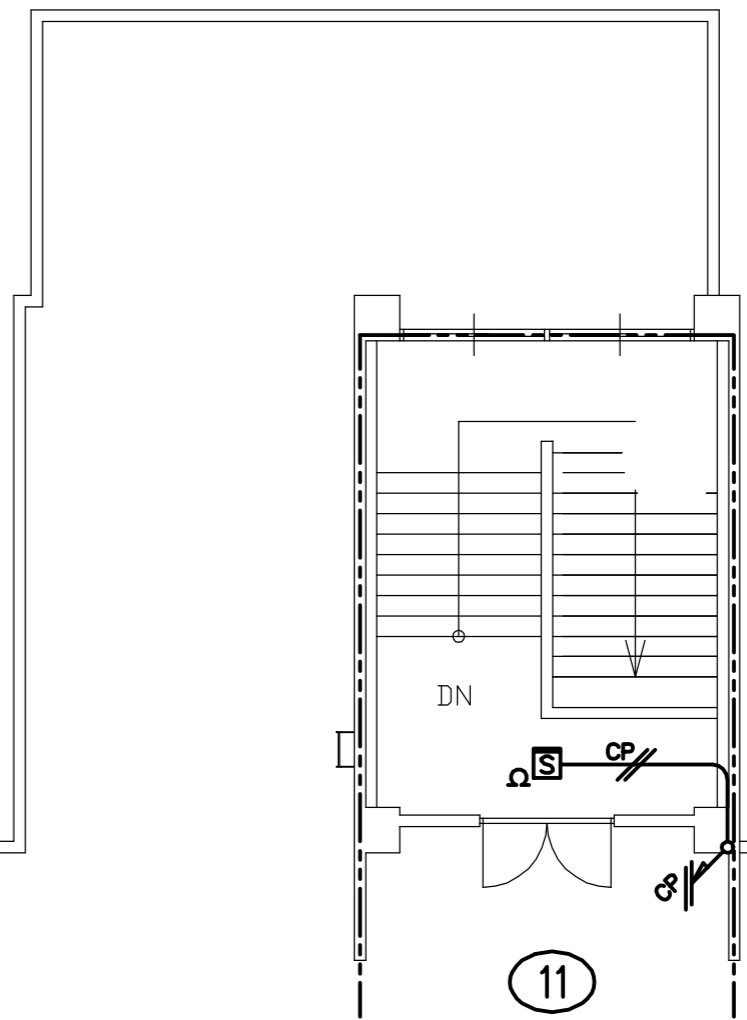
HP 1.2-10Pr (E31)	自火報幹線
FP 2'-5C (E25)	消火栓P起動回路

⑭ 既設のまま インベイ配管

HP 1.2-2C (PF16)	火災信号(EV)
------------------	----------

⑮ インベイ配管

AE 1.2-4C (PF16)	自火報
AE 1.2-2C (PF16)	自火報



既設撤去
屋階平面図 1/100

特記事項(既設撤去)

特記なき配管配線は下記に依る。

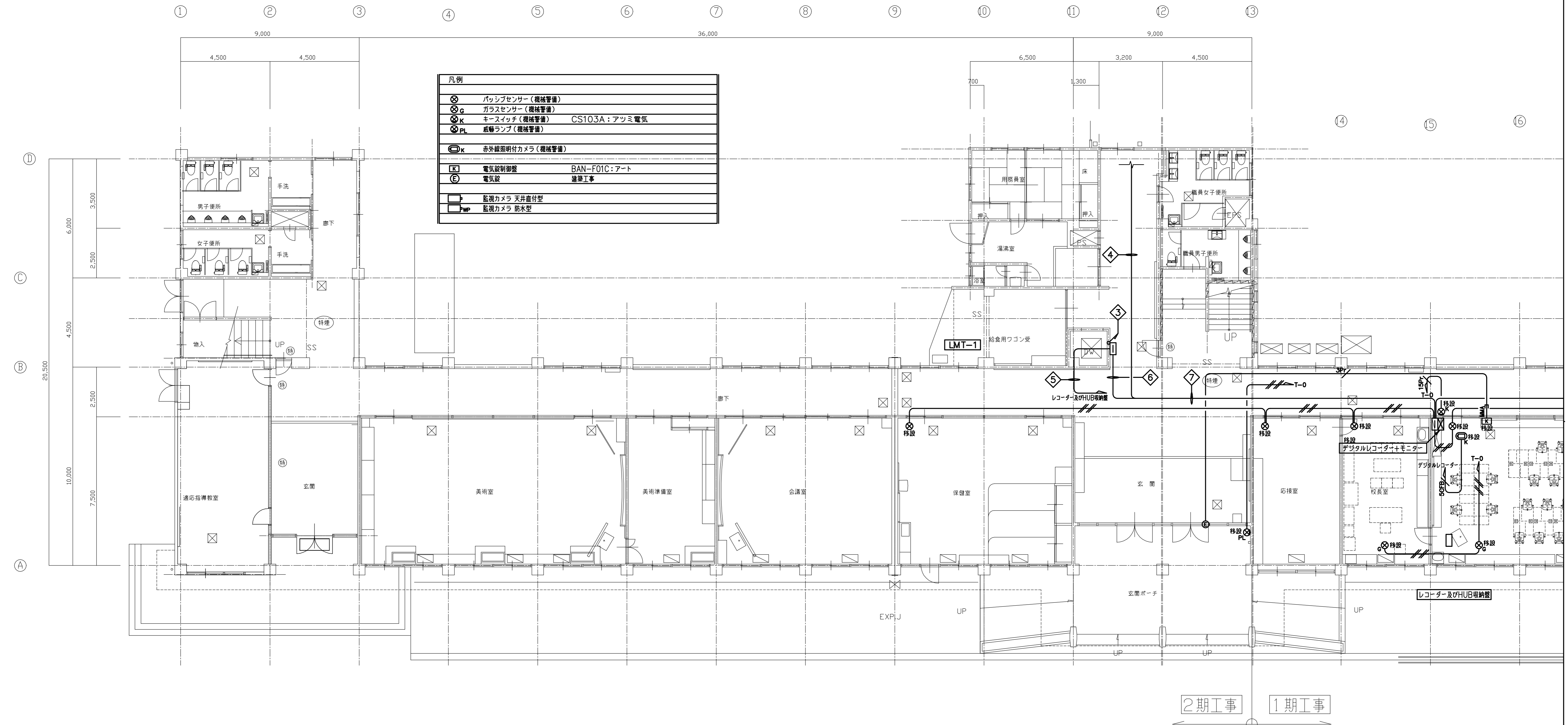
感知器回路	AE	1.2-2C (PF16)
"	"	1.2-2C (CP19)
"	"	1.2-4C (PF16)
"	HP	1.2-2C (CP19)
防火扉回路	HP	1.2-5C (PF16)
"	"	1.2-3Pr (PF16)
"	"	1.2-5Pr (PF22)
消火栓P起動回路	FP	2'-5C (PF22)
"	"	2'-5C (E25)
"	"	2'-5C (FEP30)
ガス漏れ検知回路	AE	1.2-4C (PF16)
"	"	1.2-6C (PF16)

特記事項(既設撤去)

- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 打込み配管は既設のままとする。

- | | | | | | | |
|---|---|---|-------------------------|---|----------------------|-------|
| ① 撤去
UTP 0.5-4Pr (PF16) 監視カメラ | ケーブル配線
監視カメラ | ④ 既設のまま
AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4) | ケーブル配線
機械設備 (ch4) | ⑦ 既設のまま
AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch4) | ケーブル配線
機械設備 (ch4) | 既設のまま |
| ② 既設のまま
AE 1.2-4C x2 (コロガシ) 機械設備 (ch2, ch3) | ケーブル配線
機械設備 (ch2, ch3) | ⑤ 撤去
UTP 0.5-4Pr (PF16)x2 監視カメラ | ケーブル配線
監視カメラ | ⑧ 既設のまま
AE 1.2-4C (コロガシ) 機械設備 (ch3) | ケーブル配線
機械設備 (ch3) | 既設のまま |
| ③ 既設のまま
AE 1.2-4C (PF16) 機械設備 (ch3)
AE 1.2-4C (PF16) 機械設備 (ch2) 撤去
UTP 0.5-4Pr (PF16)x2 監視カメラ 撤去 | インベイ配管
機械設備 (ch3) 既設のまま
機械設備 (ch2) 撤去
監視カメラ 撤去 | ⑥ 既設のまま
AE 1.2-4C (コロガシ) 機械設備 (ch2) | ケーブル配線
機械設備 (ch2) 撤去 | ⑨ 既設のまま
AE 1.2-4C (コロガシ) 機械設備 (ch2) | ケーブル配線
機械設備 (ch2) | 撤去 |

凡例	
	パッシュセンサー (機械警備)
	ガラスセンサー (機械警備)
	キースイッチ (機械警備) CS103A:アツミ電気
	感熱ランプ (機械警備)
	赤外線照明付カメラ (機械警備)
	電気錠制御盤 BAN-F01C:アート
	電気錠 建築工事
	監視カメラ 天井直付型
	監視カメラ 防水型



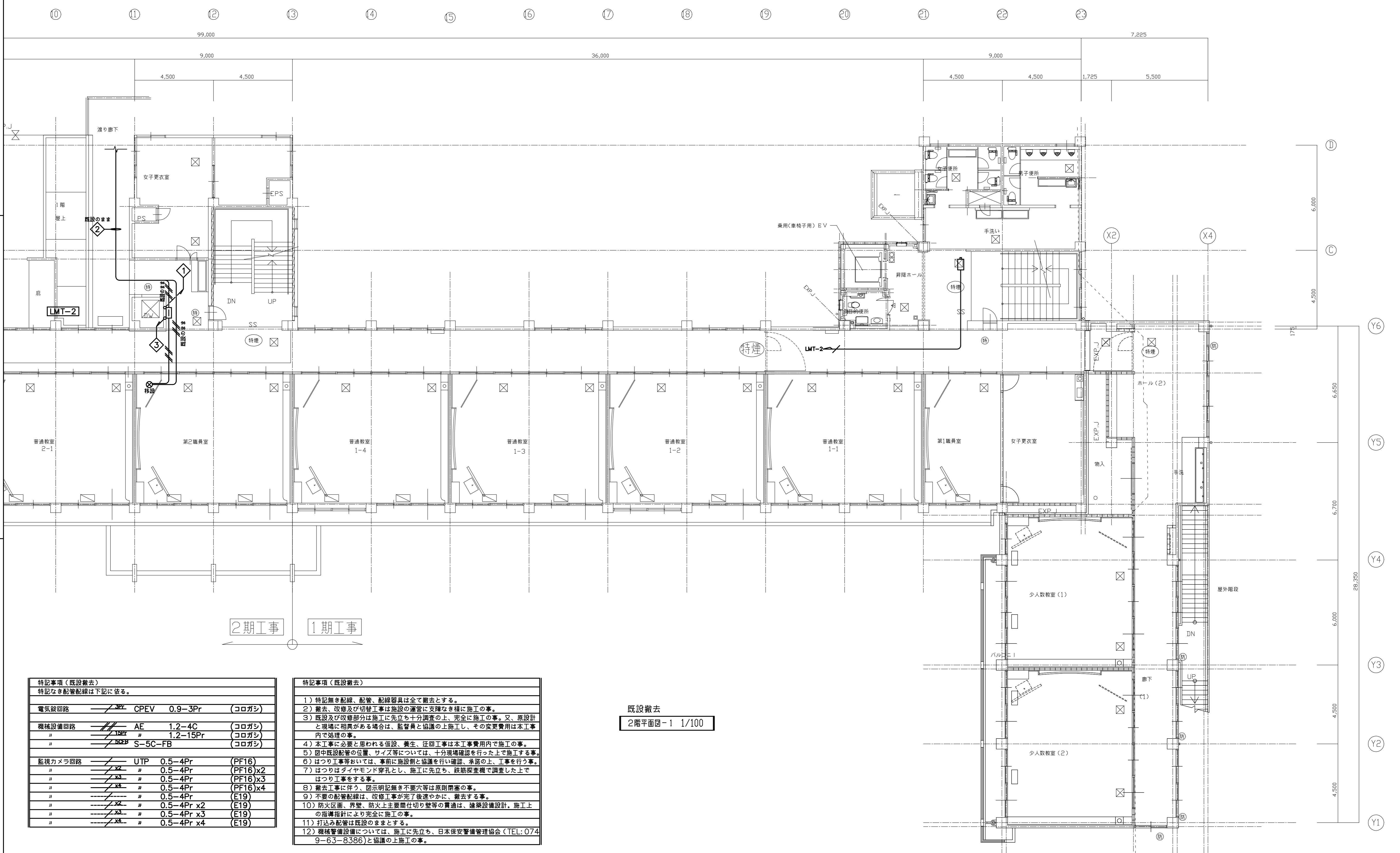
2期工事 1期工事

既設撤去
1階平面図-2 1/100

特記事項(既設撤去)		
特記なき配管配線は下記に依る。		
電気錠回路		CPEV 0.9-3Pr (コロガシ)
機械設備回路		AE 1.2-4C (コロガシ)
		S-15Pr (コロガシ)
		S-5C-FB (コロガシ)
監視カメラ回路		UTP 0.5-4Pr (PF16)
		UTP 0.5-4Pr (PF16)x2
		UTP 0.5-4Pr (PF16)x3
		UTP 0.5-4Pr (PF16)x4
		UTP 0.5-4Pr (E19)
		UTP 0.5-4Pr x2 (E19)
		UTP 0.5-4Pr x3 (E19)

- 特記事項(既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 途中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工の事。
 - 6) はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要箇所切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。
 - 12) 機械警備設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会(TEL:074-9-63-8386)と協議の上施工の事。

① 撤去	ケーブル配線	既設のまま	ケーブル配線	⑦	ケーブル配線
UTP 0.5-4Pr (PF16)	監視カメラ	AE 1.2-4C x2 (コロガシ)	機械設備 (ch4)	AE 1.2-4C x2 (コロガシ)	機械設備 (ch4)
既設のまま	ケーブル配線	撤去	ケーブル配線	AE 1.2-4C (コロガシ)	機械設備 (ch3)
AE 1.2-4C x2 (コロガシ)	機械設備 (ch2, ch3)	UTP 0.5-4Pr (PF16)x2	監視カメラ	AE 1.2-4C (コロガシ)	機械設備 (ch2)
③	インベイ配管	既設のまま	ケーブル配線	撤去	ケーブル配線
AE 1.2-4C (PF16)	機械設備 (ch3)	AE 1.2-4C (コロガシ)	機械設備 (ch3)	AE 1.2-4C (コロガシ)	機械設備 (ch2)
AE 1.2-4C (PF16)	機械設備 (ch2)	撤去	ケーブル配線	撤去	ケーブル配線
UTP 0.5-4Pr (PF16)x2	監視カメラ				



特記事項 (既設撤去)

特記なき配管配線は下記に依る。

電気錠回路	---/---	CPEV	0.9-3Pr	(コロガシ)
機械設備回路	---/---	AE	1.2-4C	(コロガシ)
''	---/---	S-5C-FB		(コロガシ)
監視カメラ回路	---/---	UTP	0.5-4Pr	(PF16)
''	---/---	''	0.5-4Pr	(PF16)x2
''	---/---	''	0.5-4Pr	(PF16)x3
''	---/---	''	0.5-4Pr	(PF16)x4
''	---/---	''	0.5-4Pr x2	(E19)
''	---/---	''	0.5-4Pr x3	(E19)
''	---/---	''	0.5-4Pr x4	(E19)

特記事項 (既設撤去)

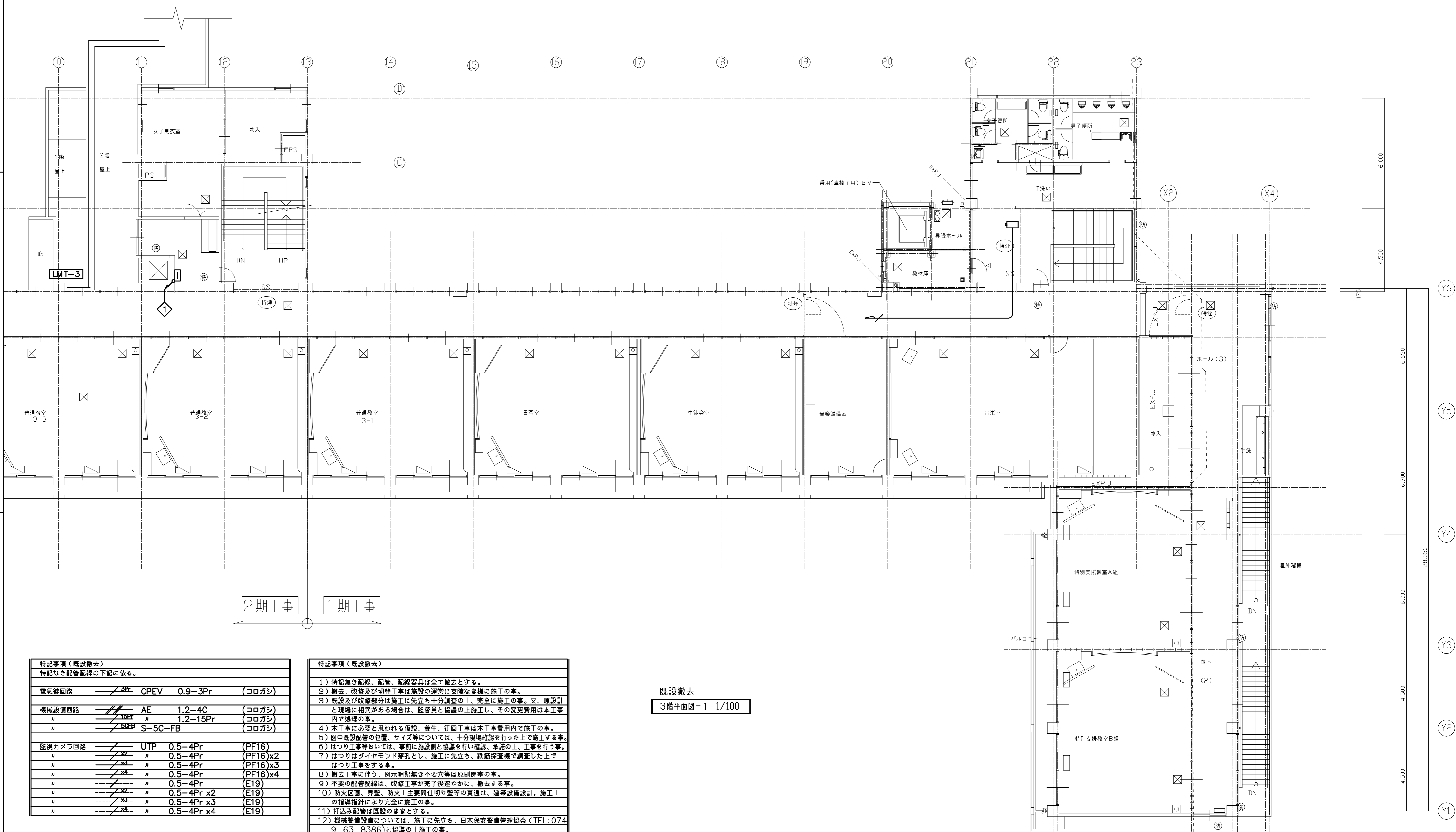
- 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 图中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 防火区画、昇盤、防火上主要開仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 打込み配管は既設のままとする。
- 機械設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会 (TEL: 074-9-63-8386) と協議の上施工の事。

既設撤去
2階平面図-1 1/100

①	撤去	ケーブル配線	UTP 0.5-4Pr (PF16)	監視カメラ
②	既設のまま	ケーブル配線	AE 1.2-4C x2 (コログシ)	機械設備 (ch2, ch3)
③	インベイ配管		AE 1.2-4C (PF16)	機械設備 (ch3)
④	撤去	ケーブル配線	AE 1.2-4C (PF16)	監視カメラ

⑤	既設のまま	ケーブル配線	AE 1.2-4C x2 (コログシ)	機械設備 (ch4)
⑥	撤去	ケーブル配線	UTP 0.5-4Pr (PF16)x2	監視カメラ
⑦	既設のまま	ケーブル配線	AE 1.2-4C (コログシ)	機械設備 (ch3)
⑧	撤去	ケーブル配線	AE 1.2-4C (コログシ)	機械設備 (ch2)

⑨	既設のまま	ケーブル配線	AE 1.2-4C x2 (コログシ)	機械設備 (ch4)
⑩	既設のまま	ケーブル配線	AE 1.2-4C (コログシ)	機械設備 (ch3)
⑪	既設のまま	ケーブル配線	AE 1.2-4C (コログシ)	機械設備 (ch2)



特記事項 (既設撤去)

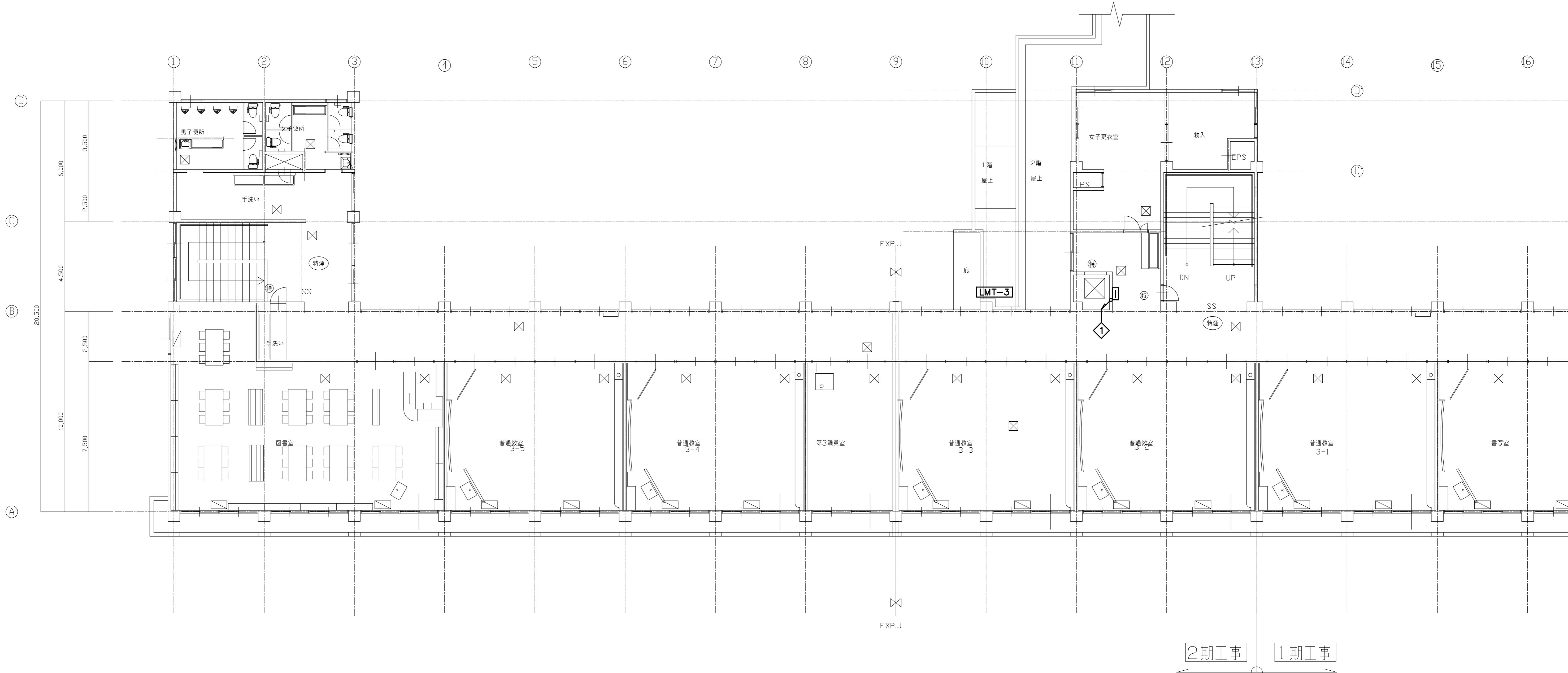
電気錠回路	---	CPEV	0.9-3Pr	(コログシ)
機械設備回路	---	AE	1.2-4C	(コログシ)
"	---	15Pr	1.2-15Pr	(コログシ)
"	---	S-5C-FB	S-5C-FB	(コログシ)
監視カメラ回路	---	UTP	0.5-4Pr	(PF16)
"	---	"	0.5-4Pr	(PF16)x2
"	---	"	0.5-4Pr	(PF16)x3
"	---	"	0.5-4Pr	(PF16)x4
"	---	"	0.5-4Pr	(E19)
"	---	"	0.5-4Pr x2	(E19)
"	---	"	0.5-4Pr x3	(E19)
"	---	"	0.5-4Pr x4	(E19)

特記事項 (既設撤去)

- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要箇所仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 打込み配管は既設のままとする。
- 12) 機械設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会 (TEL: 074-9-63-8386) と協議の上施工の事。

既設撤去
3階平面図-1 1/100

①	撤去	ケーブル配線		④	既設のまま	ケーブル配線		⑦	ケーブル配線		既設のまま	
	UTP 0.5-4Pr (PF16)		監視カメラ		AE 1.2-4C x2 (コロガシ)		機械設備 (ch4)		AE 1.2-4C x2 (コロガシ)		機械設備 (ch4)	
②	既設のまま	ケーブル配線		⑤	撤去	ケーブル配線			AE 1.2-4C (コロガシ)		機械設備 (ch3)	
	AE 1.2-4C x2 (コロガシ)		機械設備 (ch2, ch3)		UTP 0.5-4Pr (PF16)x2		監視カメラ		AE 1.2-4C (コロガシ)		機械設備 (ch2)	
③	既設のまま	インペイ配管		⑥	撤去	ケーブル配線			AE 1.2-4C (コロガシ)		機械設備 (ch3)	
	AE 1.2-4C (PF16)		機械設備 (ch3)		AE 1.2-4C (コロガシ)		機械設備 (ch2)		AE 1.2-4C (コロガシ)		機械設備 (ch2)	
	AE 1.2-4C (PF16)		撤去		AE 1.2-4C (コロガシ)		撤去					
	UTP 0.5-4Pr (PF16)x2		監視カメラ									



既設撤去
3階平面図-2 1/100

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電気回路	---	CPEV 0.9-3Pr (コロガシ)	
機械設備回路	---	AE 1.2-4C (コロガシ)	
	---	1.2-15Pr (コロガシ)	
	---	S-5C-FB (コロガシ)	
監視カメラ回路	---	UTP 0.5-4Pr (PF16)	
	---	0.5-4Pr (PF16)x2	
	---	0.5-4Pr (PF16)x3	
	---	0.5-4Pr (PF16)x4	
	---	0.5-4Pr (E19)	
	---	0.5-4Pr x2 (E19)	
	---	0.5-4Pr x3 (E19)	
	---	0.5-4Pr x4 (E19)	

- 特記事項 (既設撤去)
- 1) 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、境界、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。
 - 11) 打込み配管は既設のままとする。
 - 12) 機械設備設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会 (TEL: 074-9-63-8386) と協議の上施工の事。

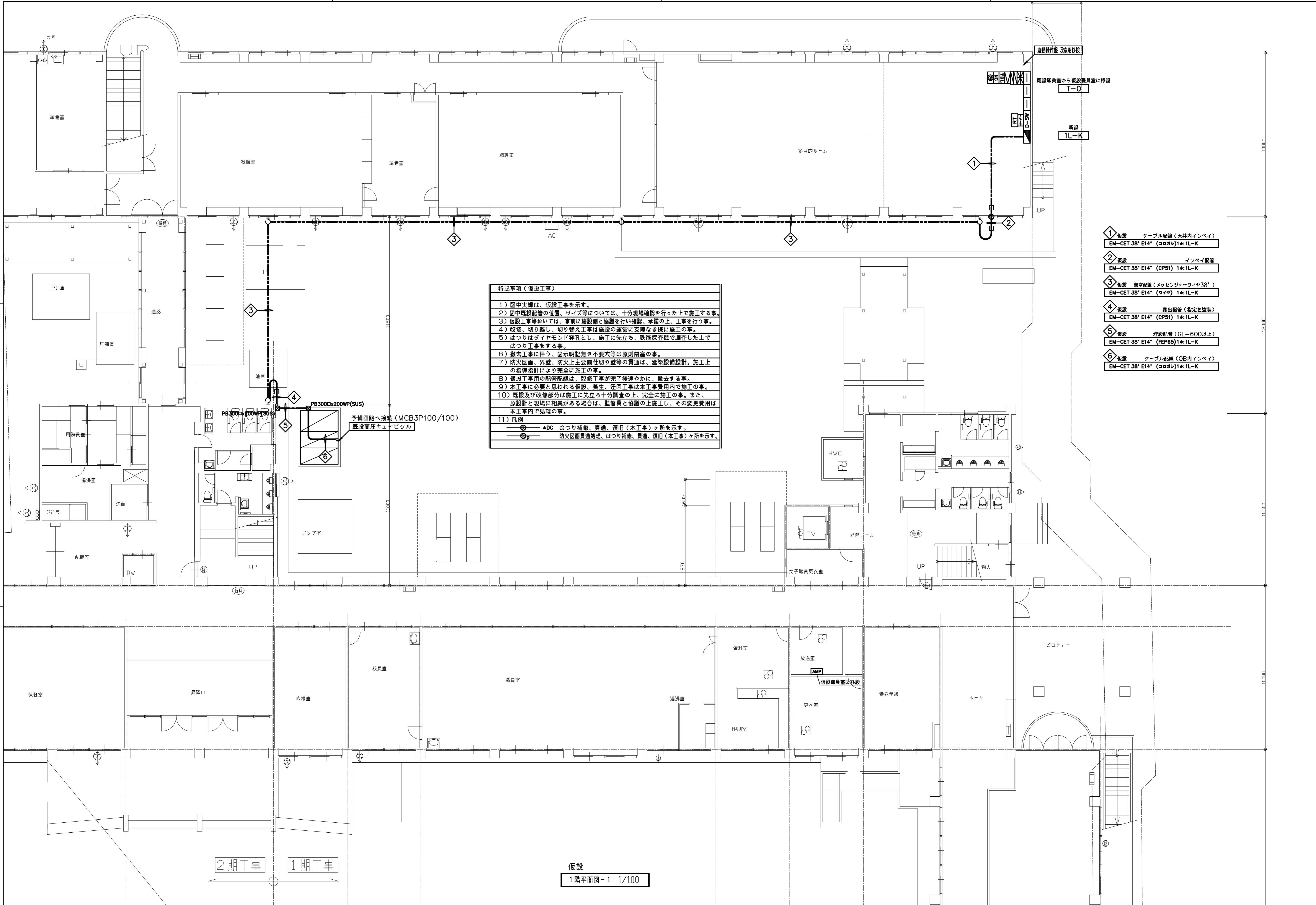
特記事項(仮設工事)

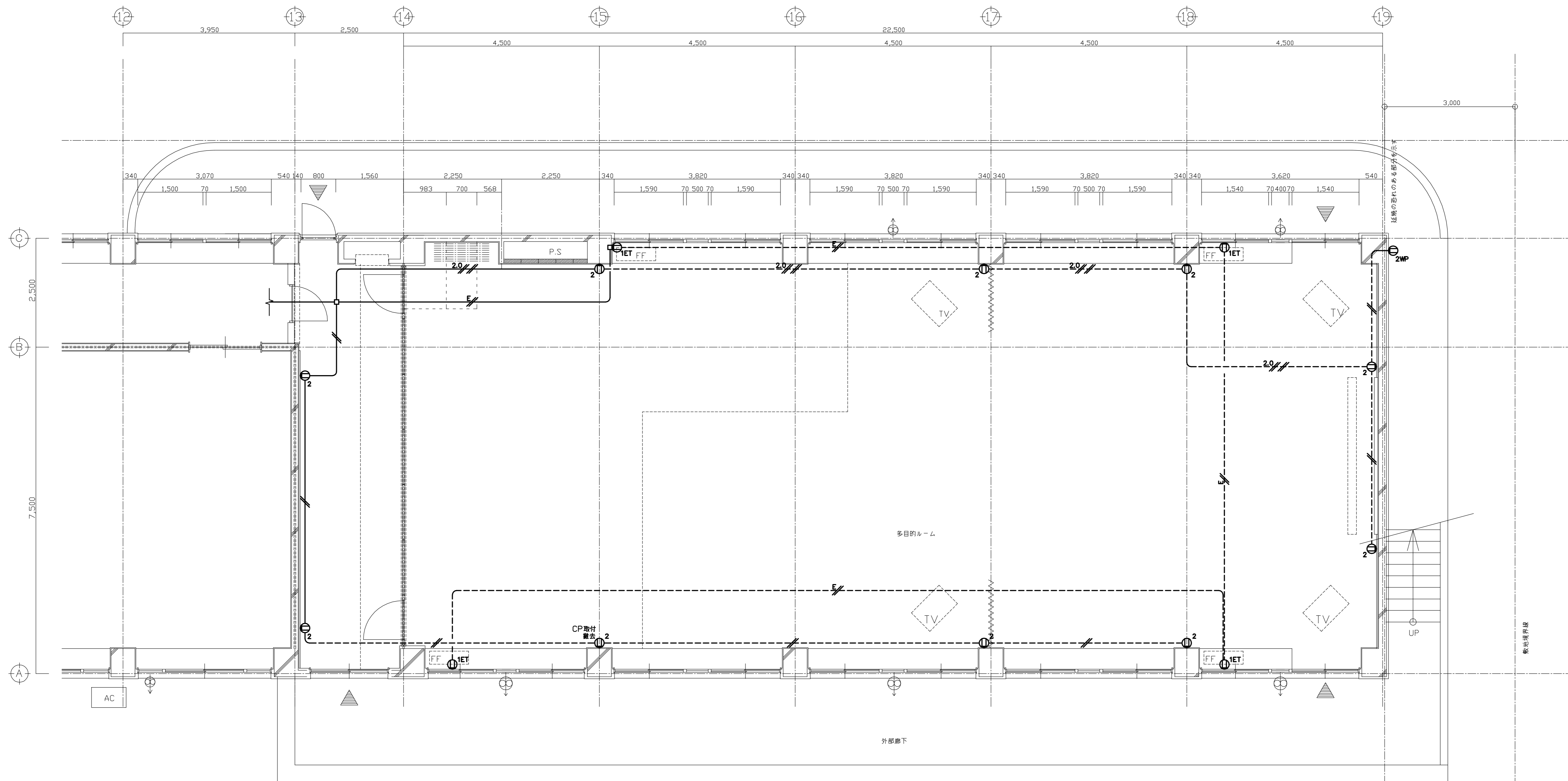
1) 図中実線は、仮設工事を示す。
 2) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 3) 仮設工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 4) 改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 5) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。
 6) 撤去工事に伴う、隠蔽明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 7) 防火区画、昇盤、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 8) 仮設工事用の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 9) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 10) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 11) 凡例
 ○ ADC はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 ⊕ 防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。

- ① 仮設 ケーブル配線(天井内インベイ)
EM-CET 38'E14' (コロガシ)14:1L-K
- ② 仮設 インベイ配管
EM-CET 38'E14' (CP51) 14:1L-K
- ③ 仮設 架空配線(メッセンジャーワイヤ38")
EM-CET 38'E14' (ワイヤ) 14:1L-K
- ④ 仮設 露出配管(指定色塗装)
EM-CET 38'E14' (CP51) 14:1L-K
- ⑤ 仮設 埋設配管(GL-600以上)
EM-CET 38'E14' (FEP85)14:1L-K
- ⑥ 仮設 ケーブル配線(QB内インベイ)
EM-CET 38'E14' (コロガシ)14:1L-K

2期工事 1期工事

仮設
1階平面図-1 1/100

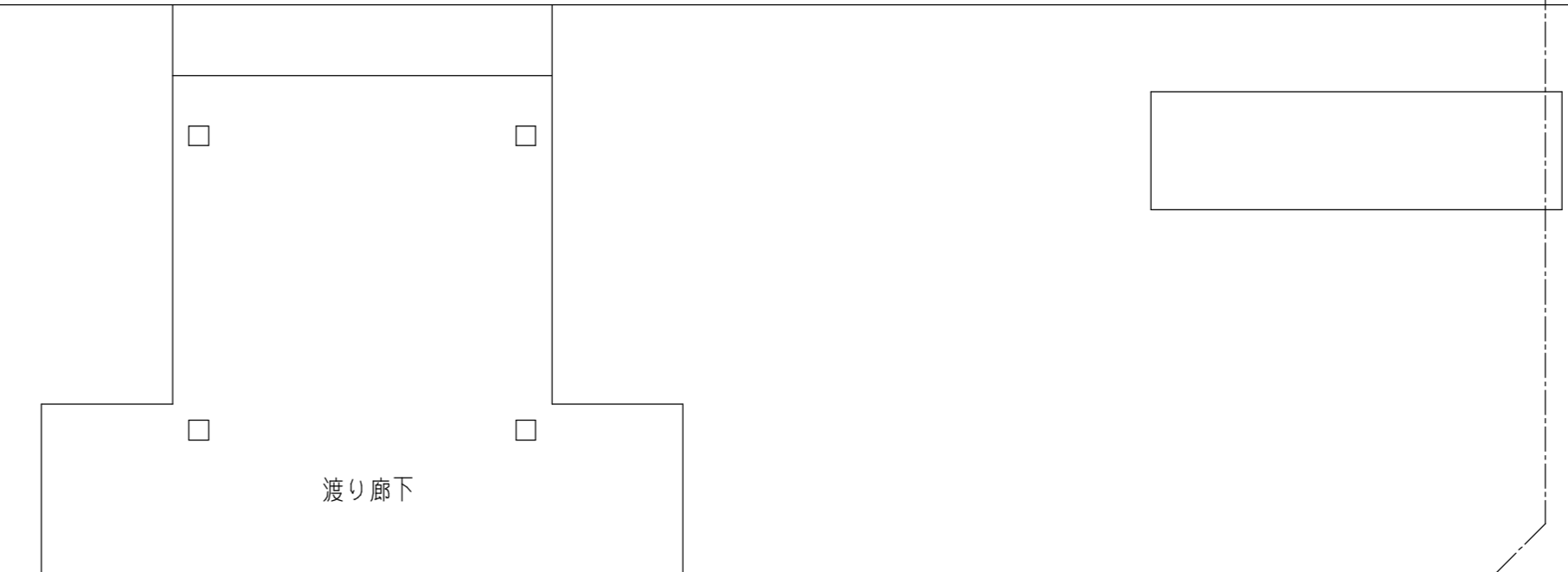




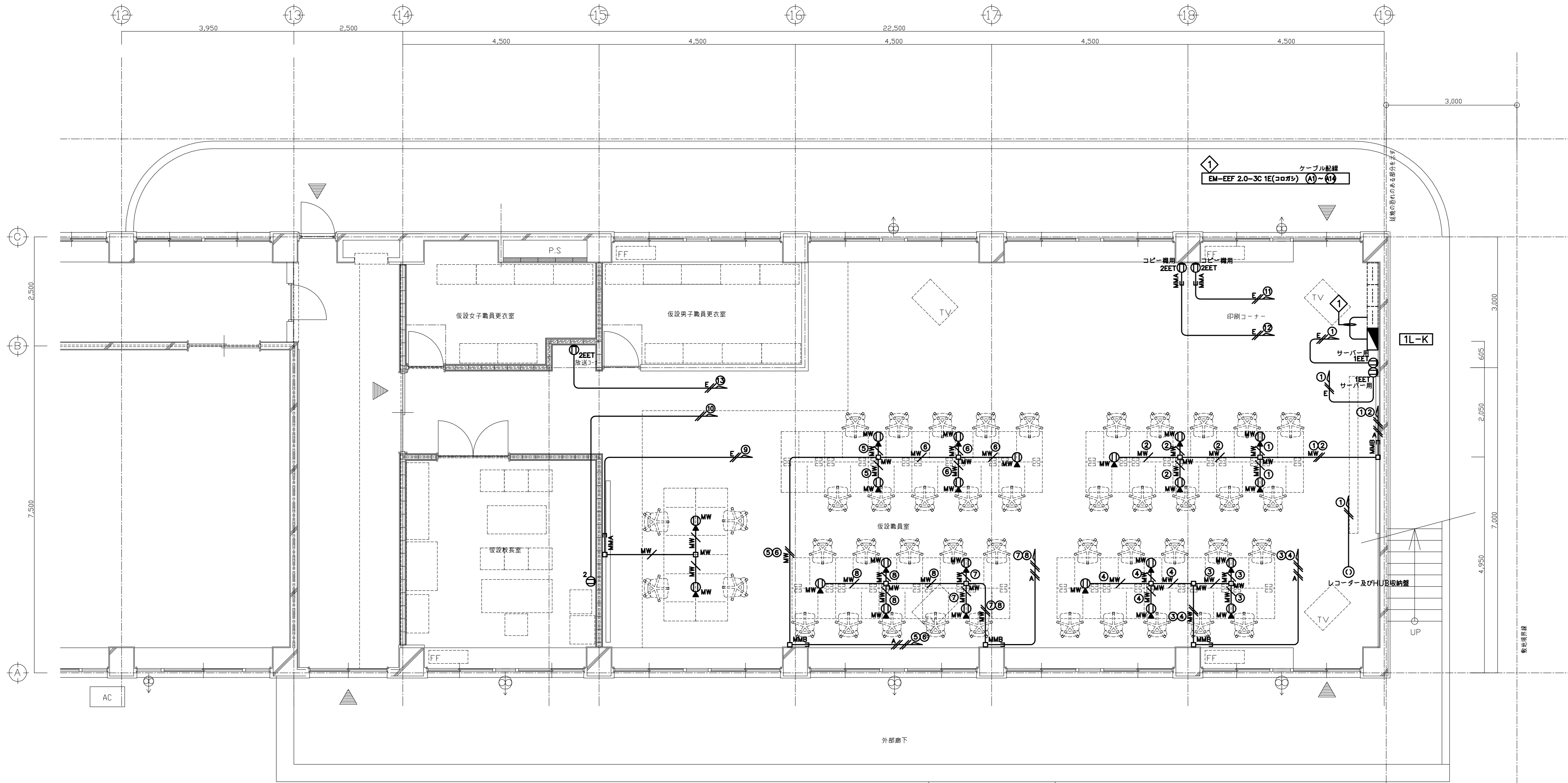
特記事項(既設撤去)
特記なき配管配線は下記に依る。

差込回路	600V IV	2.0x2	(PF16)
〃	〃	2.0x2 E2.0	(PF16)
〃	〃	2.0x4	(PF22)
〃	〃	2.0x2	(PF16)
〃	〃	2.0x2 E2.0	(PF16)
〃	〃	2.0x4	(PF22)

- 1) 図中 X印 は、撤去を示し、実線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 仮設に伴う器具の取外して再使用する配線は端末処理を行う事。
- 12) 打込み配管は既設のままとする。



既設撤去
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50



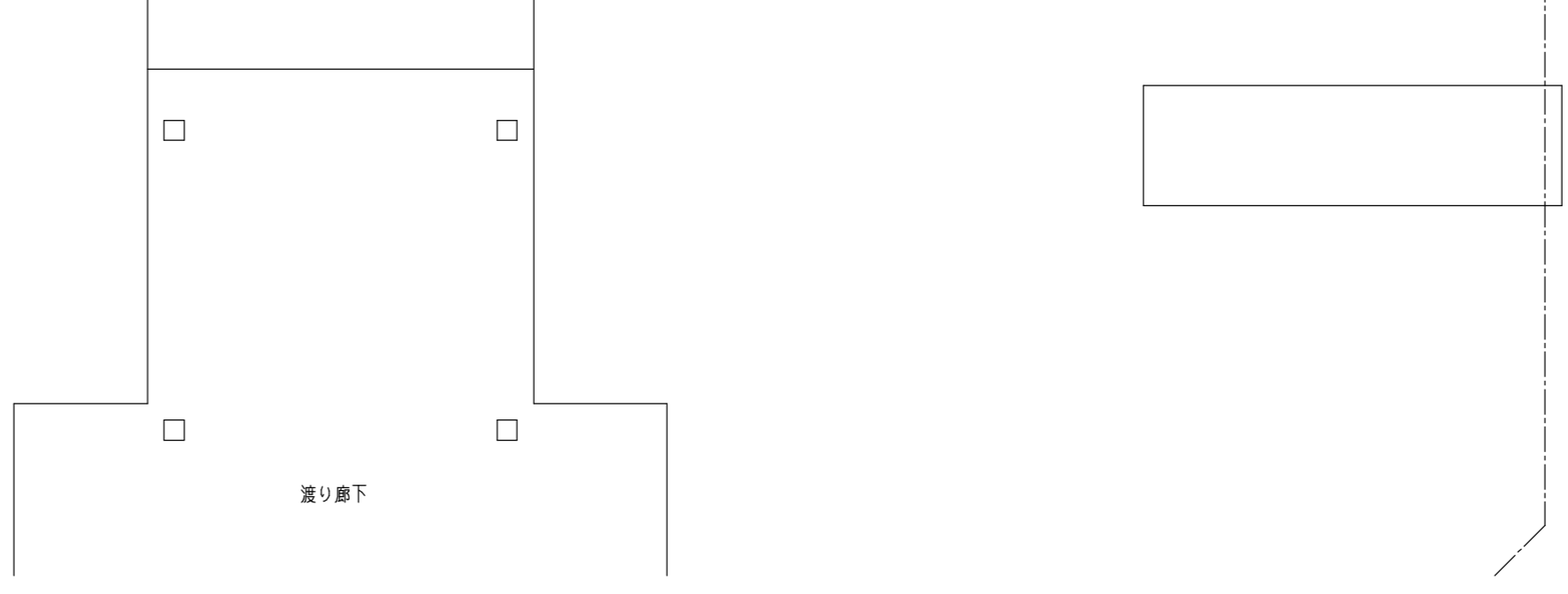
特記事項(仮設工事)
特記なき配管配線は下記に依る。

差込回路	600V EM-EEF 2.0-2C (PF16)
"	" " 2.0-3C 1E (PF22)
"	" " 2.0-3C 1E (PF22)x2
"	" " 2.0-3C 1E (メタルワイプロ1ウェイ)
"	" " 2.0-3C 1Ex2 (メタルワイプロ2ウェイ)

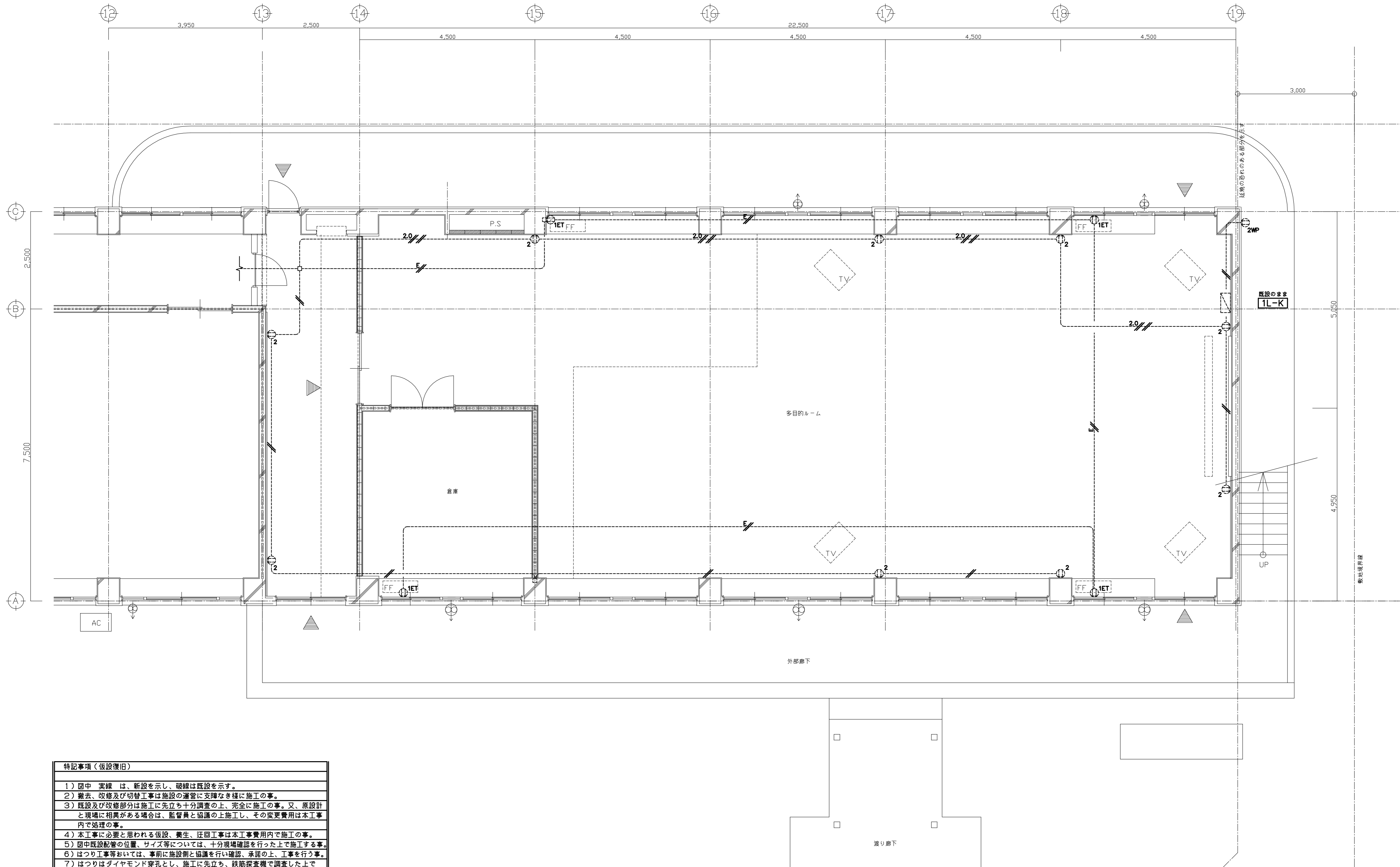
- 1) 図中 実線 は、仮設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をすする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要箇所仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 2重天井内はケーブル配線とする。
- 12) 仮設工事用の配管、配線、器具等は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 13) 2重天井内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
- 14) ケーブル配線の立上り、立下りの露出部分はメタルモールで保護の事。

凡 例

記号	名 称	備 考
□ MW	メタルワイプロ用 水平分岐カバー	DZM406H(パナソニック同等品)
○ MW	メタルワイプロ用コンセント	DZM501H(パナソニック同等品)
	2P15Ax2 接地極付	

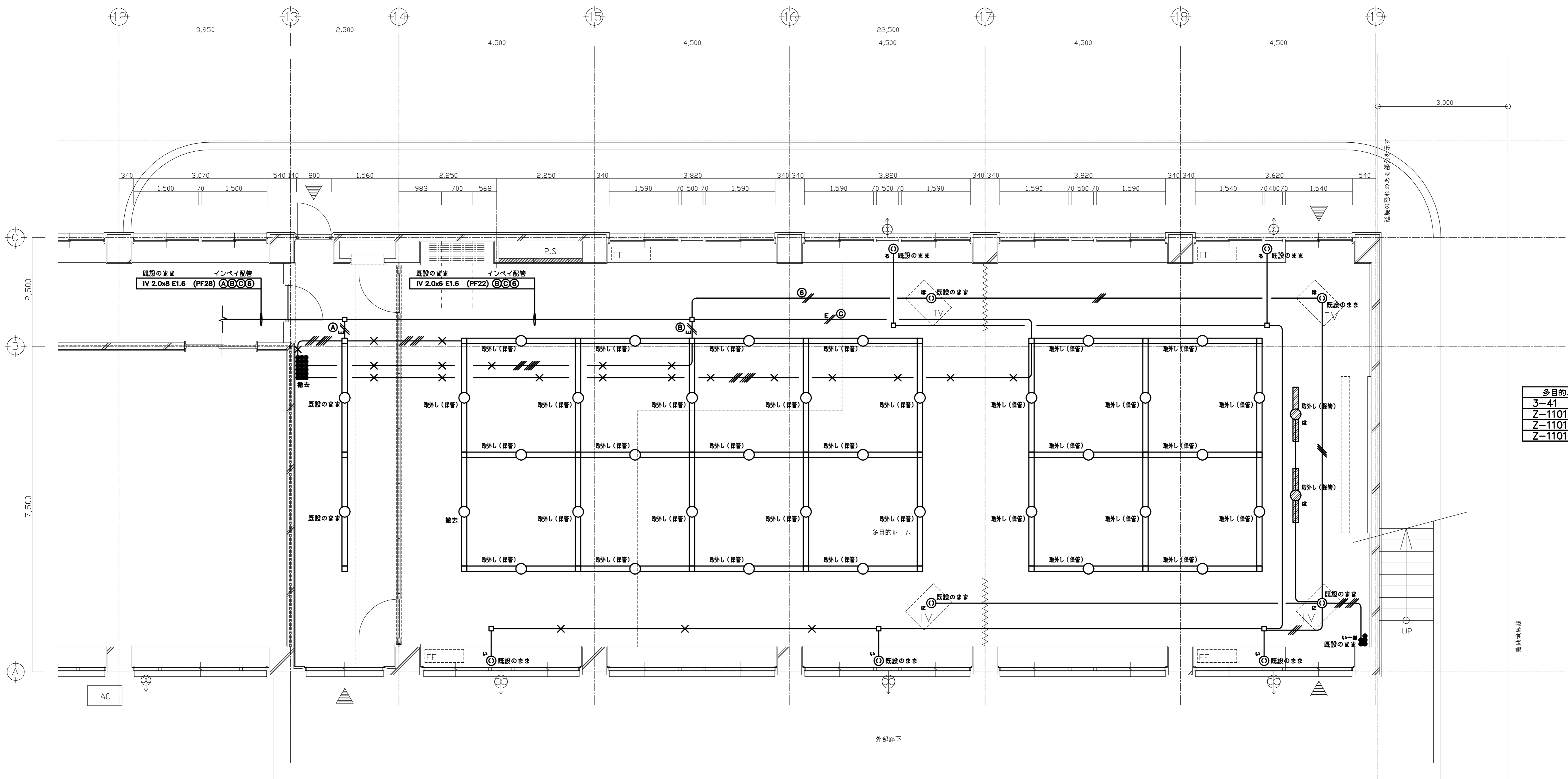


仮設
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50



- 特記事項 (仮設復旧)
- 1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。
 - 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
 - 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
 - 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
 - 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
 - 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
 - 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
 - 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
 - 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
 - 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
 - 11) 2重天井内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。
 - 12) ケーブル配線の立上り、立下りの露出部分はメタルモールで保護の事。

既設改修
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50



3-41	2	撤去し
Z-1101	33	既設のまま
Z-1101	2	撤去
Z-1101	1	撤去

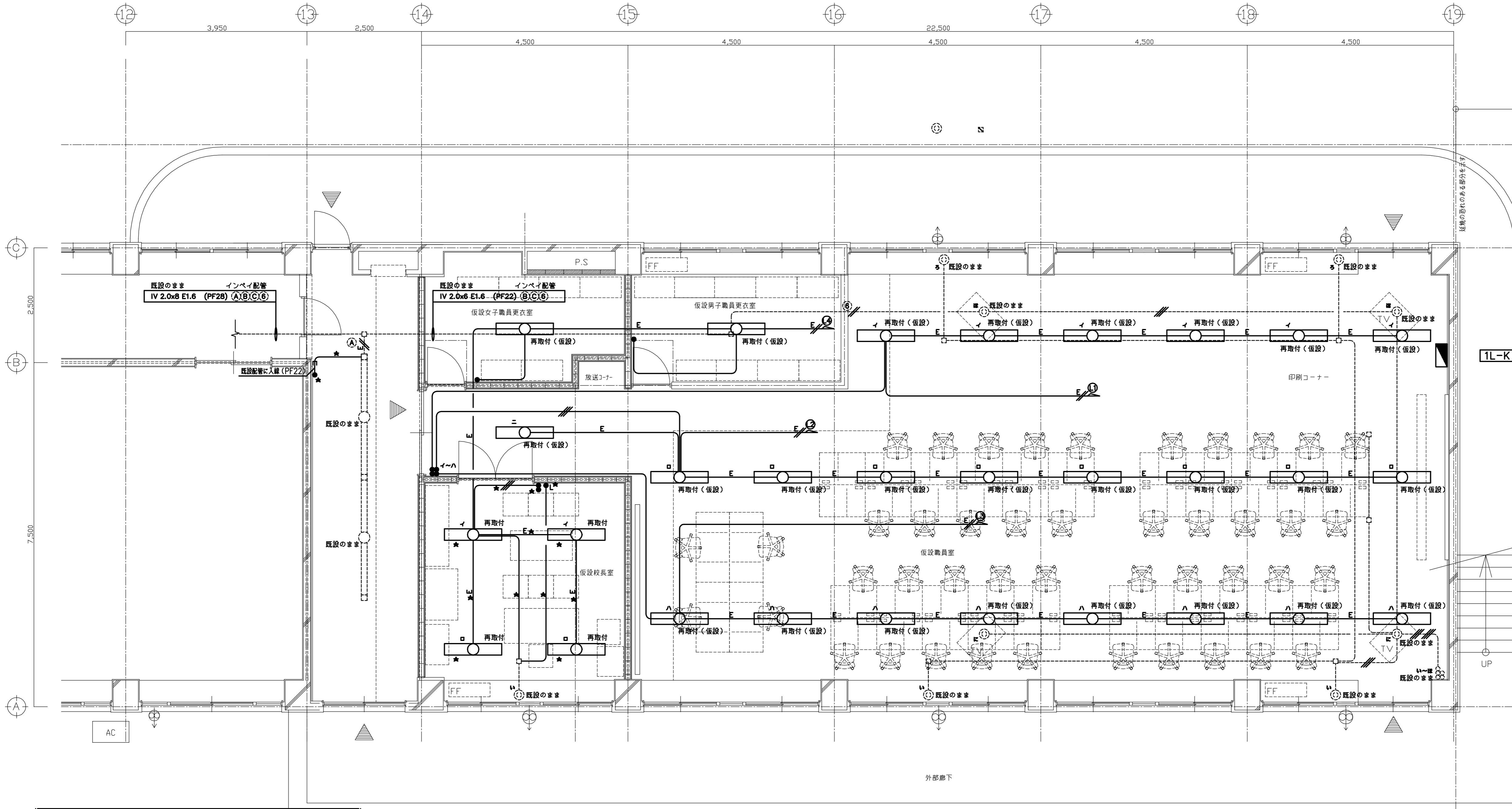
特記事項（既設撤去）			
特記なき配管配線は下記に依る。			
電灯回路	600V IV	2.0x2	(PF16)
〃	〃	2.0x2 E1.6	(PF16)
〃	〃	1.6x3	(PF16)
〃	〃	1.6x6	(PF22)
〃	〃	1.6x7	(PF22)

- 1) 図中 ×印 は、撤去を示し、実線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工区内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上で、はつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 仮設に伴う器具の取外して再使用する配線は撤去処理を行う事。
- 12) 打込み配管は既設のままとする。

図面記号	名 称
1-42	FLR 40 W × 2 V型
3-41	FL 40 W × 1 黒板灯 埋込型
Z-1101	FLR 110 W × 1 直付型 スリムライン

照明器具撤去については、PCB含有の調査を、十分現場確認を行った上で、撤去を行う。
又、調査の上、PCBが含有していた場合は監督職員と協議の上、監督職員の指示に従い、適切に指定場所に保管をする事。
又、上記PCB含有の標記、収納箱、運搬等は本工区内で処理する事。

既設撤去
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50

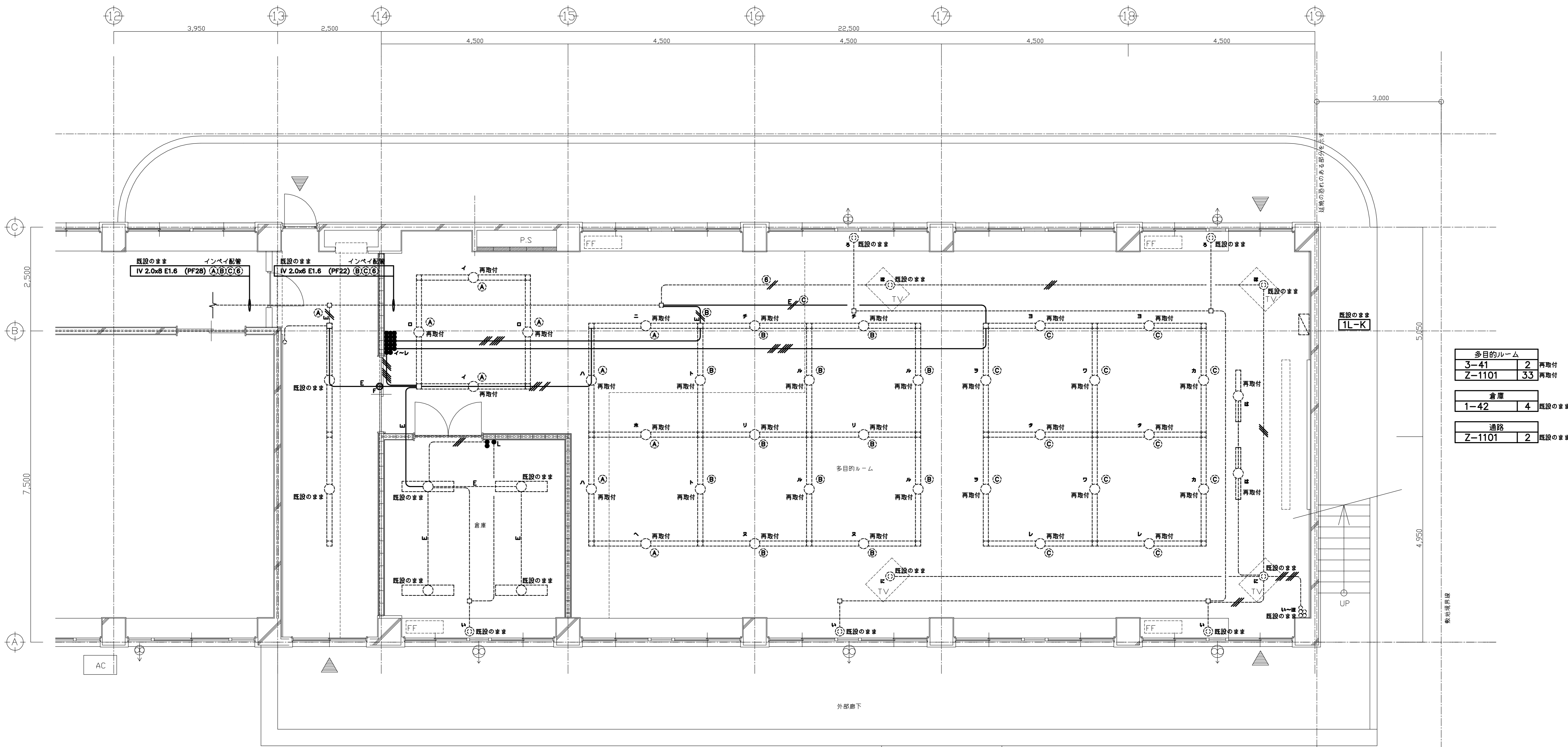


分電盤 1L-K 仮設工事後も残置
主幹: ELB3P100AF100AT
分枝: SH2P1E20Ax30
プラスチック製 屋内露出型
BQR810.302: パナソニック

仮設職員室			
1-42	23	再取付(仮設)	
仮設女子職員更衣室			
1-42	1	再取付(仮設)	
仮設男子職員更衣室			
1-42	1	再取付(仮設)	
仮設校長室			
1-42	4	再取付	
通路			
Z-1101	2	既設のまま	

特記事項(仮設工事)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
電灯回路	600V EM-EFF 2.0-2C (PF16)
"	" " 2.0-3C 1E (PF22)
"	" " 1.6-2C (PF16)
"	" " 1.6-3C (PF22)
"	" " 1.6-3C 1E (PF22)
<p>1) 図中 実線 は、仮設を示し、破線は既設を示す。</p> <p>2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。</p> <p>3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。</p> <p>4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。</p> <p>5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。</p> <p>6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。</p> <p>7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探索機で調査した上ではつり工事をする事。</p> <p>8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。</p> <p>9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。</p> <p>10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指針指針により完全に施工の事。</p> <p>11) 2重天井内はケーブル配線とする。</p> <p>12) 仮設工事用の配管、配線、器具等は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。但し★印付きの配管、配線、器具等は仮設工事後も残置とする。</p> <p>13) 2重天井内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。</p> <p>14) ケーブル配線の立上り、立下りの露出部分はメタルモールで保護の事。</p> <p>15) 照明器具1-42は既設校舎様で撤去する照明器具29台を取外し仮設利用する事。</p>	

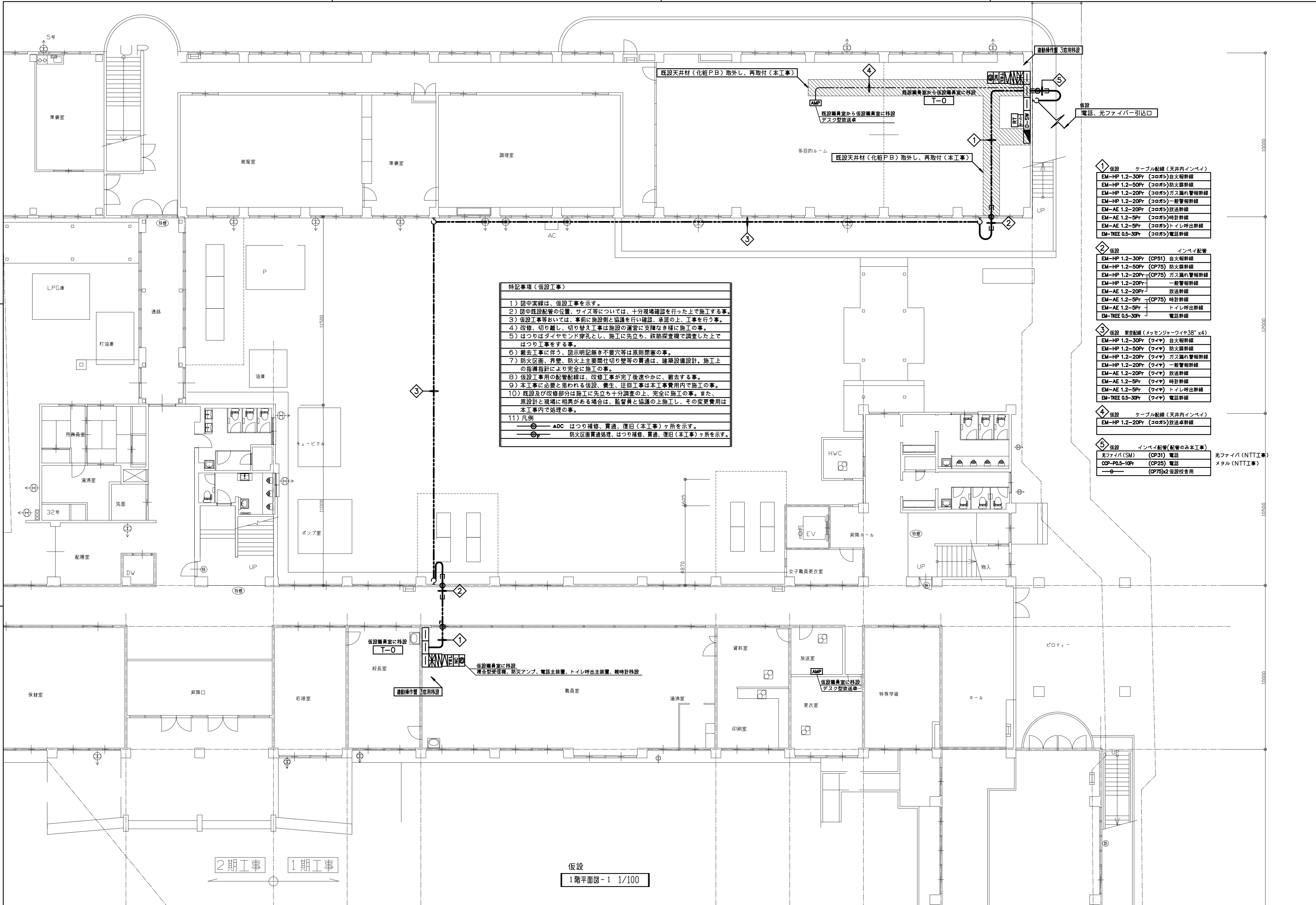
仮設
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50



多目的ルーム	
3-41	2 再取付
Z-1101	33 再取付
倉庫	
1-42	4 既設のまま
通路	
Z-1101	2 既設のまま

特記事項 (仮設復旧)	
特記なき配管配線は下記に依る。	
電灯回路	600V EM-EEF 2.0-2C (PF16)
〃	〃 〃 2.0-3C 1E (PF22)
〃	〃 〃 1.6-2C+3C (PF22)
〃	〃 〃 1.6-2Cx2+3C (PF28)
〃	〃 〃 1.6-3C 1E (PF22)
1) 図中 実線 は、新設を示し、破線は既設を示す。 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 10) 防火区画、境界、防火上主要開仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 11) 2重天井内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。 12) ケーブル配線の立上り、立下りの露出部分はメタルモールで保護の事。	

既設改修
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50



特記事項(仮設工事)

- 1) 図中実線は、仮設工事を示す。
- 2) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 3) 仮設工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 4) 改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工する事。
- 5) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事を施工する事。
- 6) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 7) 防火区画、昇降、防火上主要開口壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 8) 仮設工事用の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 9) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注固工事は本工事費用内で施工の事。
- 10) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 11) 凡例
 ● ADC はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。
 ● P 防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧(本工事)ヶ所を示す。

- ① 仮設 ケーブル配線(天井内インベイ)
- EM-HP 1.2-30Pr (コゴシ)自火報幹線
 - EM-HP 1.2-50Pr (コゴシ)防火報幹線
 - EM-HP 1.2-20Pr (コゴシ)ガス漏れ警報幹線
 - EM-HP 1.2-20Pr (コゴシ)一般警報幹線
 - EM-AE 1.2-20Pr (コゴシ)放送幹線
 - EM-AE 1.2-5Pr (コゴシ)時計幹線
 - EM-AE 1.2-5Pr (コゴシ)トイレ呼出幹線
 - EM-TREE 0.5-30Pr (コゴシ)電話幹線

- ② 仮設 インベイ配管
- EM-HP 1.2-30Pr (CP51) 自火報幹線
 - EM-HP 1.2-50Pr (CP75) 防火報幹線
 - EM-HP 1.2-20Pr (CP75) ガス漏れ警報幹線
 - EM-HP 1.2-20Pr 一般警報幹線
 - EM-AE 1.2-20Pr 放送幹線
 - EM-AE 1.2-5Pr (CP75) 時計幹線
 - EM-AE 1.2-5Pr (CP75) トイレ呼出幹線
 - EM-TREE 0.5-30Pr 電話幹線

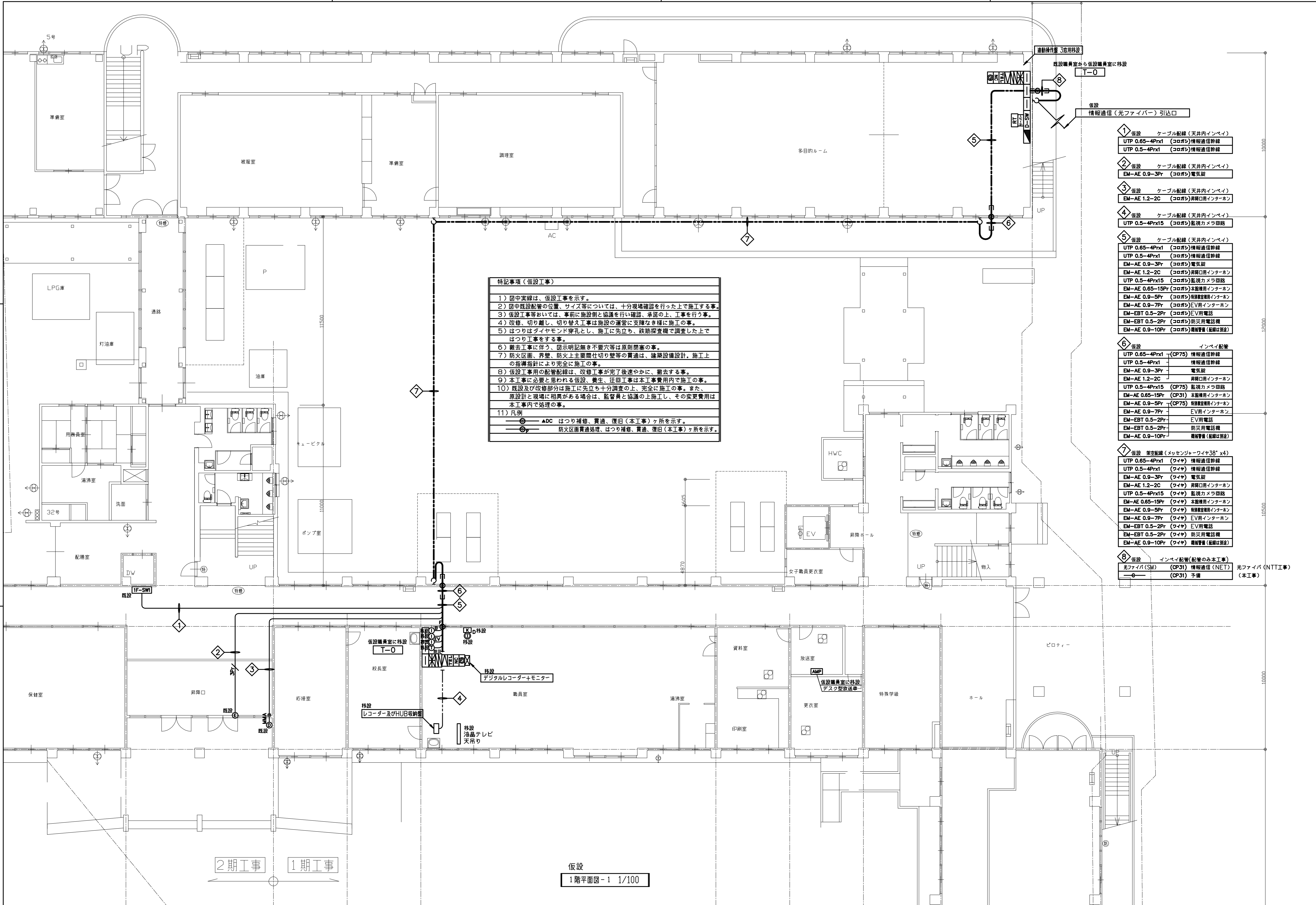
- ③ 仮設 架空配線(メカセンジャーワイヤ36' x4)
- EM-HP 1.2-30Pr (ワイヤ) 自火報幹線
 - EM-HP 1.2-50Pr (ワイヤ) 防火報幹線
 - EM-HP 1.2-20Pr (ワイヤ) ガス漏れ警報幹線
 - EM-HP 1.2-20Pr (ワイヤ) 一般警報幹線
 - EM-AE 1.2-20Pr (ワイヤ) 放送幹線
 - EM-AE 1.2-5Pr (ワイヤ) 時計幹線
 - EM-AE 1.2-5Pr (ワイヤ) トイレ呼出幹線
 - EM-TREE 0.5-30Pr (ワイヤ) 電話幹線

- ④ 仮設 ケーブル配線(天井内インベイ)
- EM-HP 1.2-20Pr (コゴシ)放送幹線

- ⑤ 仮設 インベイ配管(配管のみ本工事)
- 光ファイバ(SM) (CP31) 電話 光ファイバ(NTT工事)
 - COF-P0.5-10Pr (CP25) 電話 メタル(NTT工事)
 - (CP75)x2 仮設機舎用

仮設
1階平面図-1 1/100

2期工事 1期工事



特記事項 (仮設工事)

- 1) 図中実線は、仮設工事を示す。
- 2) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 3) 仮設工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 4) 改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工する事。
- 5) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 6) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
- 7) 防火区画、昇盤、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工する事。
- 8) 仮設工事用の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 9) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工する事。
- 10) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工する事。また、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理する事。
- 11) 凡例
 - ① ADC はつり補修、貫通、復旧 (本工事) 箇所を示す。
 - ② 防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧 (本工事) 箇所を示す。

- 1) 仮設 ケーブル配線 (天井内インベイ)
 UTP 0.65-4Prx1 (コゴシ) 情報通信幹線
 UTP 0.5-4Prx1 (コゴシ) 情報通信幹線
 EM-AE 0.9-3Pr (コゴシ) 電気錠
- 2) 仮設 ケーブル配線 (天井内インベイ)
 EM-AE 0.9-3Pr (コゴシ) 電気錠
- 3) 仮設 ケーブル配線 (天井内インベイ)
 EM-AE 1.2-2C (コゴシ) 昇降口用インターホン
- 4) 仮設 ケーブル配線 (天井内インベイ)
 UTP 0.5-4Prx15 (コゴシ) 監視カメラ回路
- 5) 仮設 ケーブル配線 (天井内インベイ)
 UTP 0.65-4Prx1 (コゴシ) 情報通信幹線
 UTP 0.5-4Prx1 (コゴシ) 情報通信幹線
 EM-AE 0.9-3Pr (コゴシ) 電気錠
 EM-AE 1.2-2C (コゴシ) 昇降口用インターホン
 UTP 0.5-4Prx15 (コゴシ) 監視カメラ回路
 EM-AE 0.65-15Pr (コゴシ) 本館専用インターホン
 EM-AE 0.9-5Pr (コゴシ) 特別教室専用インターホン
 EM-AE 0.9-7Pr (コゴシ) EV用インターホン
 EM-EBT 0.5-2Pr (コゴシ) EV用電話
 EM-EBT 0.5-2Pr (コゴシ) 防災用電話機
 EM-AE 0.9-10Pr (コゴシ) 機械警備 (配線は別途)
- 6) 仮設 インベイ配管
 UTP 0.65-4Prx1 (CP75) 情報通信幹線
 UTP 0.5-4Prx1 (コゴシ) 情報通信幹線
 EM-AE 0.9-3Pr (コゴシ) 電気錠
 EM-AE 1.2-2C (コゴシ) 昇降口用インターホン
 UTP 0.5-4Prx15 (CP75) 監視カメラ回路
 EM-AE 0.65-15Pr (CP31) 本館専用インターホン
 EM-AE 0.9-5Pr (CP75) 特別教室専用インターホン
 EM-AE 0.9-7Pr (コゴシ) EV用インターホン
 EM-EBT 0.5-2Pr (コゴシ) EV用電話
 EM-EBT 0.5-2Pr (コゴシ) 防災用電話機
 EM-AE 0.9-10Pr (コゴシ) 機械警備 (配線は別途)
- 7) 仮設 架空配線 (メッセージワイヤ38" x4)
 UTP 0.65-4Prx1 (ワイヤ) 情報通信幹線
 UTP 0.5-4Prx1 (ワイヤ) 情報通信幹線
 EM-AE 0.9-3Pr (ワイヤ) 電気錠
 EM-AE 1.2-2C (ワイヤ) 昇降口用インターホン
 UTP 0.5-4Prx15 (ワイヤ) 監視カメラ回路
 EM-AE 0.65-15Pr (ワイヤ) 本館専用インターホン
 EM-AE 0.9-5Pr (ワイヤ) 特別教室専用インターホン
 EM-AE 0.9-7Pr (ワイヤ) EV用インターホン
 EM-EBT 0.5-2Pr (ワイヤ) EV用電話
 EM-EBT 0.5-2Pr (ワイヤ) 防災用電話機
 EM-AE 0.9-10Pr (ワイヤ) 機械警備 (配線は別途)
- 8) 仮設 インベイ配管 (配管のみ本工事)
 光ファイバ (SM) (CP31) 情報通信 (NET) 光ファイバ (NTT工事) (本工事)
 (CP31) 予備

仮設
1階平面図-1 1/100

2期工事 1期工事



凡例 1

記号	名称	備考
LAN	メタルワイプロ用LAN受口	DZM500KH +NR3170CW+WN3020CW x2 (パナソニック同等品)
LAN+電	メタルワイプロ用電話受口+LAN受口	DZM500KH +NR3170CW+WN3020CW +WNT15649CW(パナソニック同等品)
LAN	メタルワイプロ用ケーブル引出口	DZM500KH +WN3022CW+WN3020CW x2 (パナソニック同等品)
HUB 8	LAN用ハブ 8ポート	VYPN24080C(パナソニック同等品)
HUB 16	LAN用ハブ 16ポート	VYPN24160CK(パナソニック同等品)

新設器具は仮設使用後撤去する事。

凡例 2

記号	名称	備考
防	防災電話機	EK-P11238AA: パナソニック
A	IP多機能電話機	IP-24G-TELSDA: 日立
EV	エレベーター用インターホン	
PHS	PHSアンテナ	日立
P	PHS	8DPS II: 日立
E	電気錠制御盤 1回路	BAN-F01C: アート

既設職員室から仮設職員室に移設し改修工事が完了後改修職員室に再取付を行う事。

凡例 3

記号	名称	備考
D	インターホン 親機 ドアホン用	WJ-4MED: アイホン
I	インターホン	VL-270: ナショナル
	液晶テレビ 天吊り	テレビハンガー共

既設職員室から仮設職員室に移設し改修工事が完了後撤去する事。

凡例 4

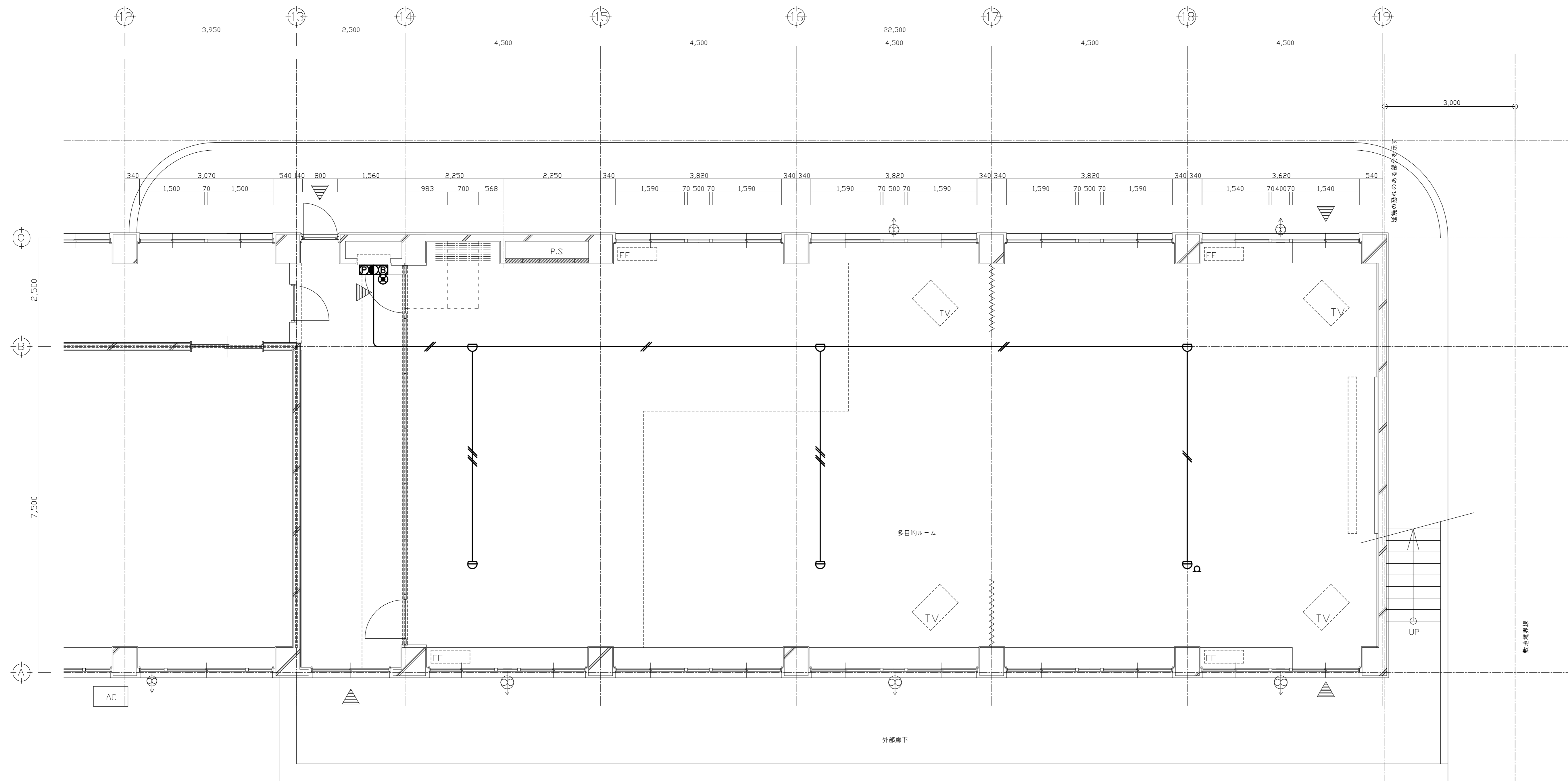
記号	名称	備考
K	赤外線照明付カメラ(機械警備)	

既設職員室から仮設職員室に移設し改修工事が完了後改修職員室に戻す事。
機械警備器具及び配線は日本保安警備管理協会 (TEL: 0749-63-8386) とし、別途工事とする。

特記事項(仮設工事)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
情報通信回路	EM-UTP 0.5-4Pr	(PF16)	
"	MW/UTP " 0.5-4Pr	(PF16)	メタルワイプロ1ウェイ
電話回路	EM-EBT 0.4-2Pr	(PF16)	
情報通信+電話回路	EM-UTP 0.5-4Pr	(PF16)	
"	MW/A " 0.5-4Pr	(PF16)	メタルワイプロ1ウェイ
"	EM-EBT 0.4-2Pr	(PF16)	
インターホン回路	EM-AE 1.2-2C	(PF16)	
"	15Pr " 0.9-15Pr	(PF22)	
"	10Pr " 0.9-10Pr	(PF16)	
電気錠回路	EM-CPEE 0.9-3Pr	(PF16)	
機械警備回路	EM-S 5C-FB	(PF16)	

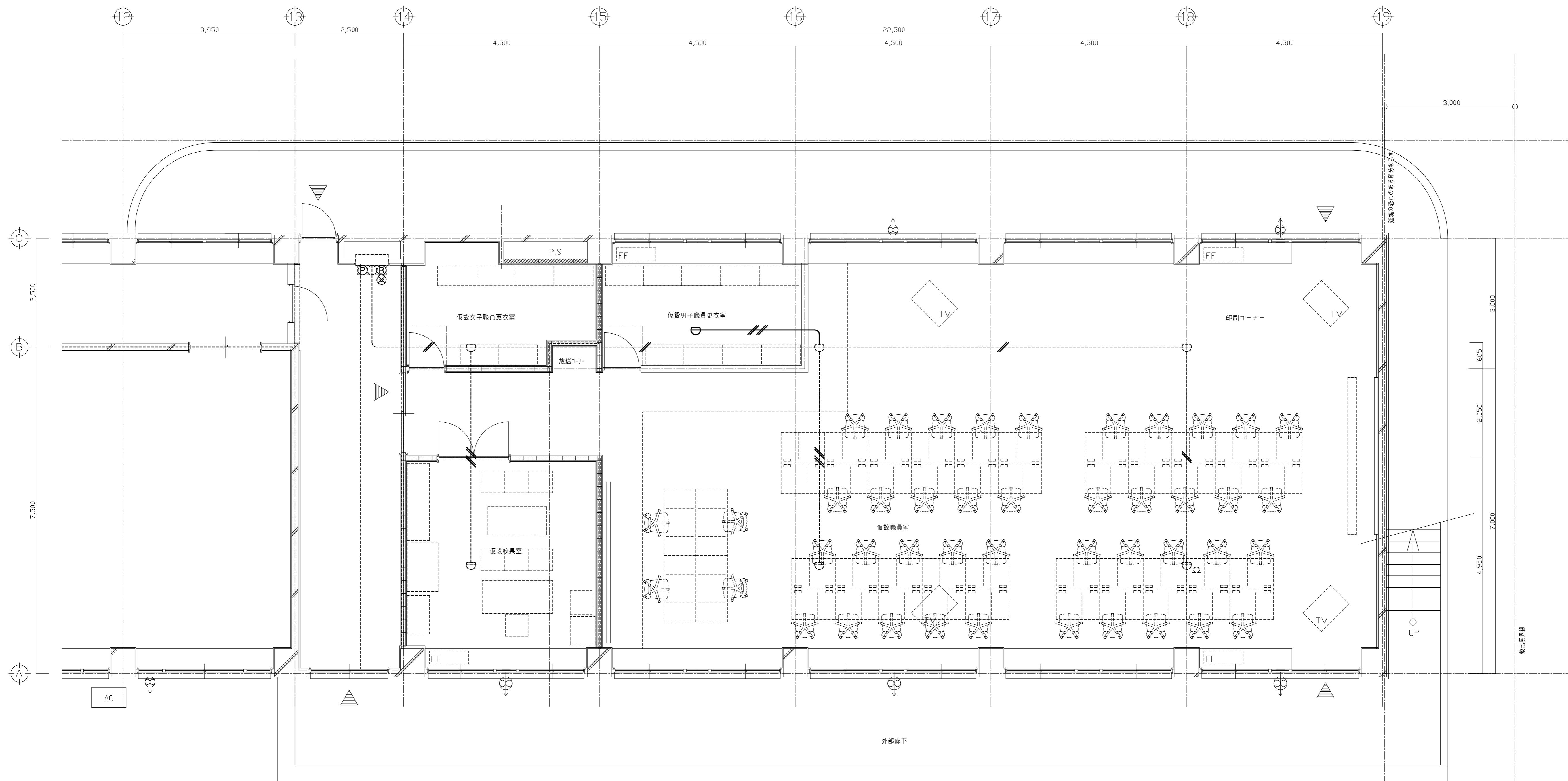
- 1) 図中 実線 は、仮設を示し、破線は既設を示す。
- 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
- 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異なる場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
- 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
- 5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
- 6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
- 7) はつり又はダイヤモンドとし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
- 8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。
- 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 10) 防火区画、界壁、防火上主要箇所切替等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
- 11) 2重天井内はケーブル配線とする。
- 12) 仮設工事用の配管、配線、器具等は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
- 14) 機械警備設備については、施工に先立ち、日本保安警備管理協会 (TEL: 0749-63-8386) と協議の上施工の事。
- 15) 機械警備設備については、2重天井内、立上り、立下り部分をPF管で保護は本工事とし、配線及び器具は日本保安警備管理協会とし、別途工事とする。
- 16) LANケーブル (cat5e) 3m (コネクタタイプ オスオス) 44本を取付の事。

仮設
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50



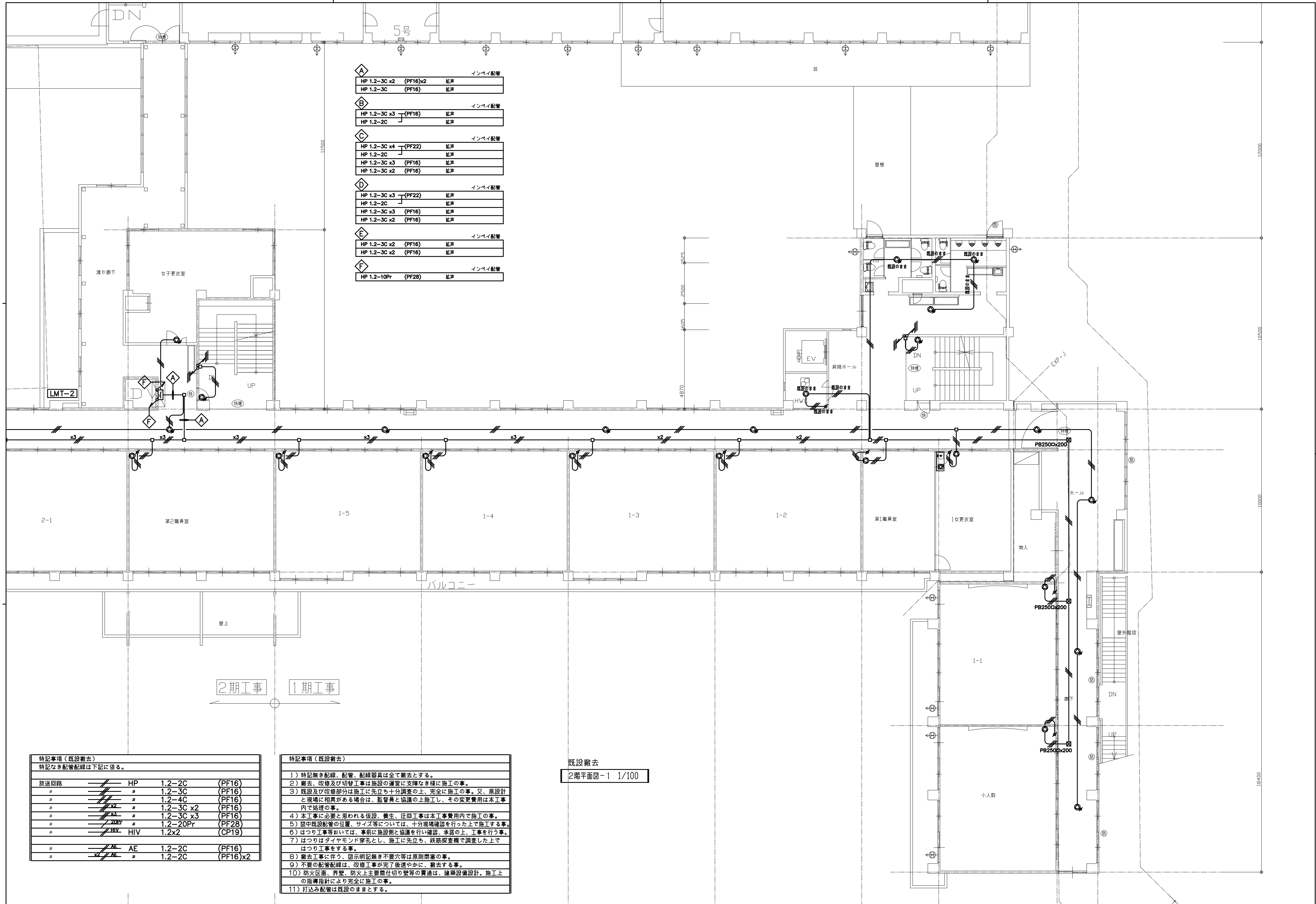
- | 特記事項（既設撤去） | | | | |
|--|---|---------|-------|--------|
| 特記なき配管配線は下記に依る。 | | | | |
| 感知器回路 | 〓 | 600V IV | 1.2x2 | (PF16) |
| " | 〓 | " | 1.2x4 | (PF16) |
| 1) 〇中 ×印 は、撤去を示し、実線は既設を示す。 | | | | |
| 2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 | | | | |
| 3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。 | | | | |
| 4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 | | | | |
| 5) 〇中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 | | | | |
| 6) はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。 | | | | |
| 7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上で はつり工事をする事。 | | | | |
| 8) 撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。 | | | | |
| 9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 | | | | |
| 10) 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 | | | | |
| 11) 仮設に伴う器具の取外して再使用する配線は端処理を行う事。 | | | | |
| 12) 打込み配管は既設のままとする。 | | | | |

既設撤去
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50



特記事項(仮設工事)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
感知器回路	EM-AE	1.2-4C	(PF16)
1) 図中 実線 は、仮設を示し、破線は既設を示す。			
2) 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。			
3) 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。			
4) 本工事に必要と思われる仮設、養生、注回工事は本工事費用内で施工の事。			
5) 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。			
6) はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。			
7) はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋検査機で調査した上ではつり工事をする事。			
8) 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。			
9) 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
10) 防火区画、昇降、防火上主要箇仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。			
11) 2重天井内はケーブル配線とする。			
12) 仮設工事に伴う配管、配線、器具等は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。			
13) 2重天井内はケーブル配線とし、立上り、立下り部分はPF管で保護の事。			
14) ケーブル配線の立上り、立下りの露出部分はメタルモールで保護の事。			

仮設
特別教室棟 1階 平面詳細図 S=1/50

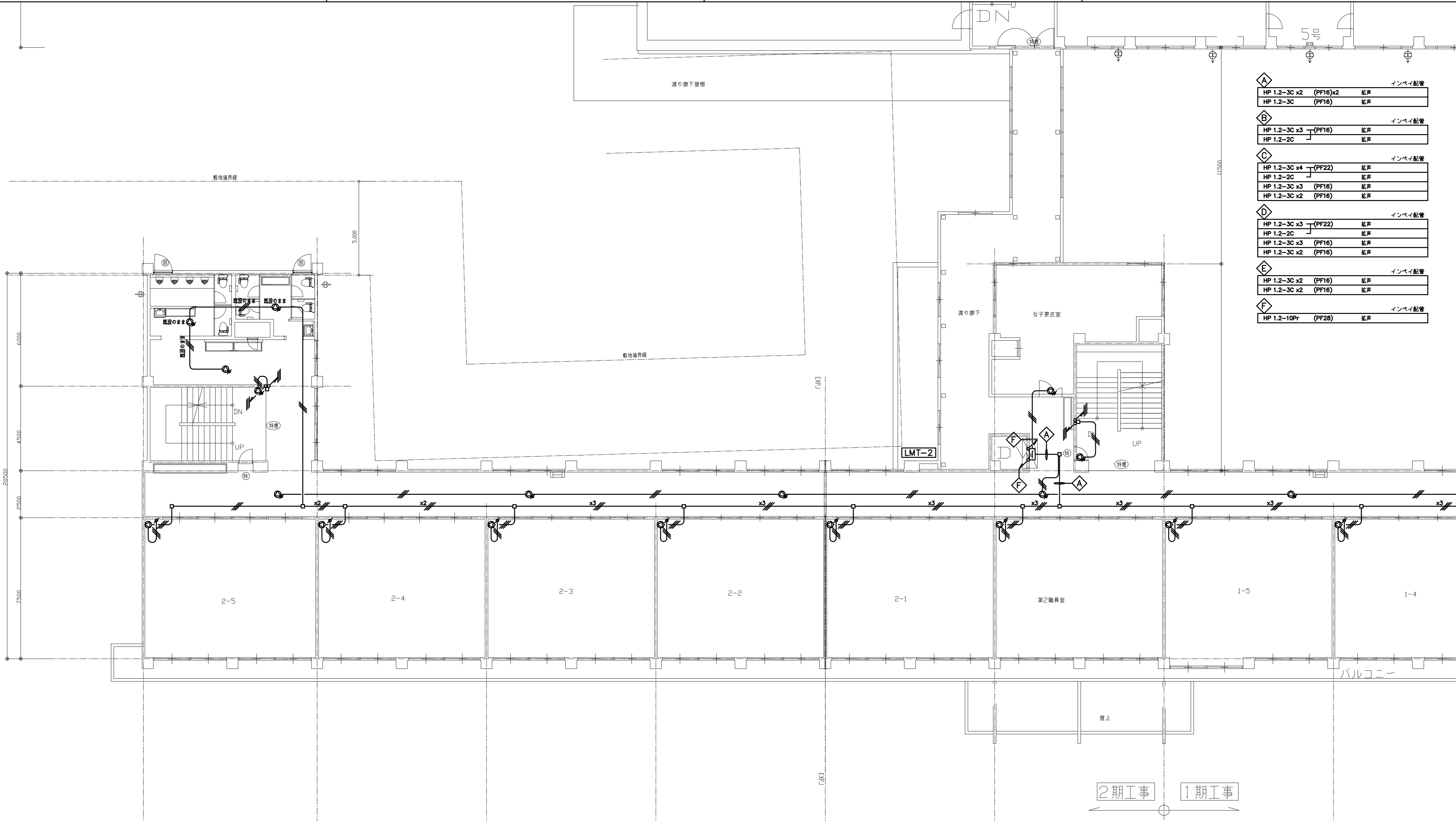


A	インベイ配管
HP 1.2-3C x2 (PF16)x2	拡声
HP 1.2-3C (PF16)	拡声
B	インベイ配管
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
C	インベイ配管
HP 1.2-3C x4 (PF22)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
D	インベイ配管
HP 1.2-3C x3 (PF22)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
E	インベイ配管
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
F	インベイ配管
HP 1.2-10Pr (PF28)	拡声

既設撤去
2階平面図-1 1/100

特記事項 (既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
放送回路	HP	1.2-2C	(PF16)
〃	〃	1.2-3C	(PF16)
〃	〃	1.2-4C	(PF16)
〃	〃	1.2-3C x2	(PF16)
〃	〃	1.2-3C x3	(PF16)
〃	〃	1.2-20Pr	(PF28)
〃	HIV	1.2x2	(CP19)
〃	AE	1.2-2C	(PF16)
〃	〃	1.2-2C	(PF16)x2

- | 特記事項 (既設撤去) | |
|-------------|---|
| 1) | 特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。 |
| 2) | 撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。 |
| 3) | 既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。 |
| 4) | 本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。 |
| 5) | 図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。 |
| 6) | はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。 |
| 7) | はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。 |
| 8) | 撤去工事に伴う、図示明記なき不要穴等は原則閉塞の事。 |
| 9) | 不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。 |
| 10) | 防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。 |
| 11) | 打込み配管は既設のままとする。 |

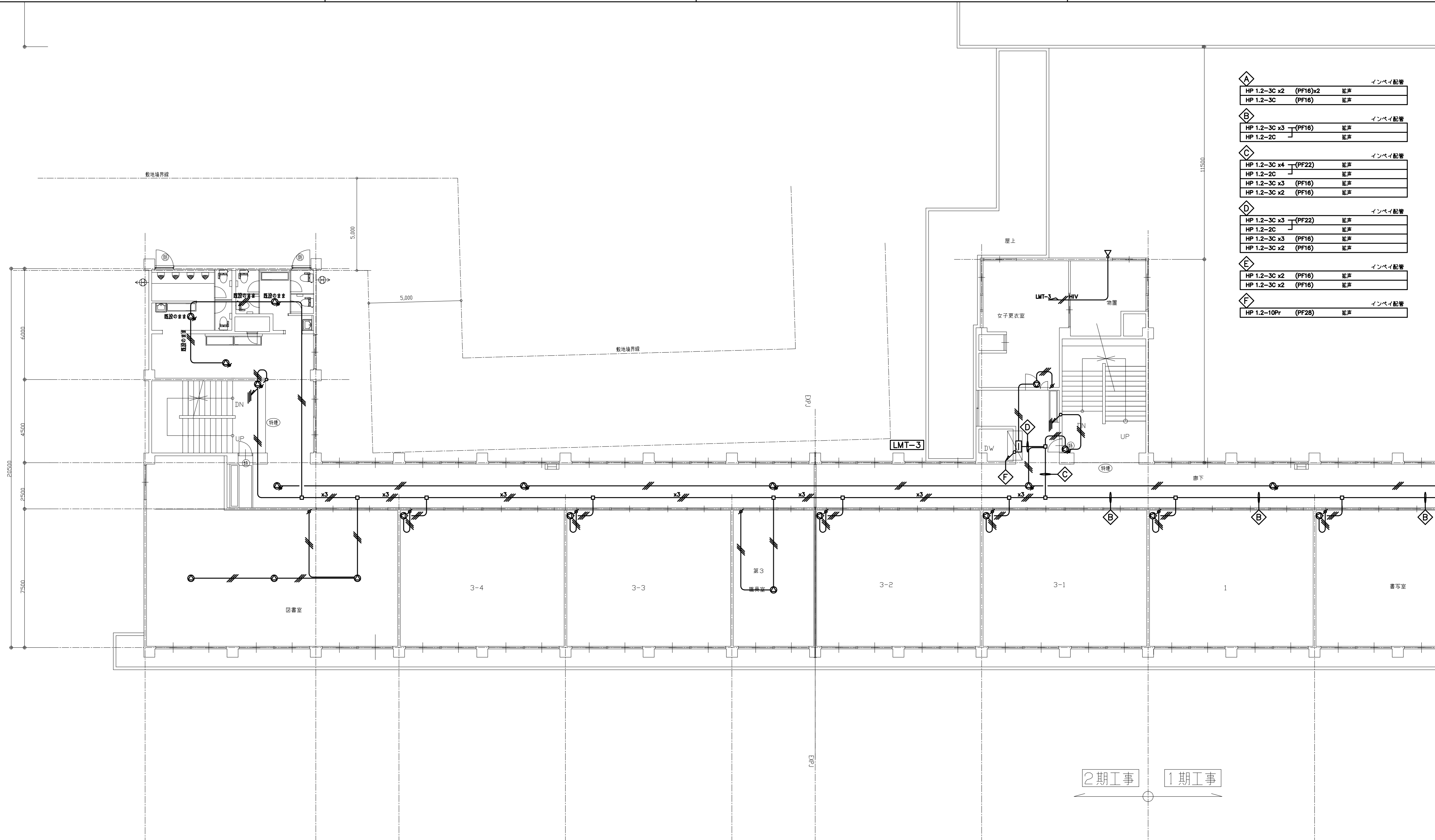


A	HP 1.2-3C x2 (PF16)x2 HP 1.2-3C (PF16)	拡声 拡声	インペイ配管
B	HP 1.2-3C x3 (PF16) HP 1.2-2C	拡声 拡声	インペイ配管
C	HP 1.2-3C x4 (PF22) HP 1.2-2C HP 1.2-3C x3 (PF16) HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声 拡声 拡声 拡声	インペイ配管
D	HP 1.2-3C x3 (PF22) HP 1.2-2C HP 1.2-3C x3 (PF16) HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声 拡声 拡声 拡声	インペイ配管
E	HP 1.2-3C x2 (PF16) HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声 拡声	インペイ配管
F	HP 1.2-10Pr (PF28)	拡声	インペイ配管

既設撤去
2階平面図-2 1/100

特記事項(既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
放送回路	HP	1.2-2C	(PF16)
〃	〃	1.2-3C	(PF16)
〃	〃	1.2-4C	(PF16)
〃	〃	1.2-3C x2	(PF16)
〃	〃	1.2-3C x3	(PF16)
〃	〃	1.2-20Pr	(PF28)
〃	HIV	1.2x2	(CP19)
〃	AE	1.2-2C	(PF16)
〃	〃	1.2-2C	(PF16)x2

特記事項(既設撤去)	
1)	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相違がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10)	防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11)	打込み配管は既設のままとする。



A	インベイ配管
HP 1.2-3C x2 (PF16)x2	拡声
HP 1.2-3C (PF16)	拡声
B	インベイ配管
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
C	インベイ配管
HP 1.2-3C x4 (PF22)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
D	インベイ配管
HP 1.2-3C x3 (PF22)	拡声
HP 1.2-2C	拡声
HP 1.2-3C x3 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
E	インベイ配管
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
HP 1.2-3C x2 (PF16)	拡声
F	インベイ配管
HP 1.2-10Pr (PF28)	拡声

既設撤去
3階平面図-2 1/100

特記事項(既設撤去)			
特記なき配管配線は下記に依る。			
放送回路	HP	1.2-2C (PF16)	
〃	〃	1.2-3C (PF16)	
〃	〃	1.2-4C (PF16)	
〃	〃	1.2-3C x2 (PF16)	
〃	〃	1.2-3C x3 (PF16)	
〃	〃	1.2-20Pr (PF28)	
〃	HIV	1.2x2 (CP19)	
〃	AE	1.2-2C (PF16)	
〃	〃	1.2-2C (PF16)x2	

2期工事 1期工事

特記事項(既設撤去)	
1)	特記なき配線、配管、配線器具は全て撤去とする。
2)	撤去、改修及び切替工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
3)	既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。又、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
4)	本工事に必要と思われる仮設、養生、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
5)	図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
6)	はつり工事等においては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
7)	はつり工事はダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
8)	撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
9)	不要の配管配線は、改修工事が完了後速やかに、撤去する事。
10)	防火区画、昇降、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計、施工上の指導指針により完全に施工の事。
11)	打込み配管は既設のままとする。